

# 「鳩山政権100日評価」 アンケート集計結果

2009年12月24日



# <回答者の属性>

回答数	324	職業	公務員:6.5% サラリーマン:18.8% 企業経営者:8.3% 企業幹部:7.4% マスコミ関係者:13.0% 学者・研究者:8.3% NPO・団体関係者:12.7% 政治家:1.2% 大学生:7.4% 自営業:3.7% 自由業:1.2% その他:9.0% 無回答:2.5%
性別	男性:84.9% 女性:13.9% 無回答:1.2%		
年齢	10代:0.0% 20代:11.4% 30代:9.9% 40代:21.9% 50代:22.2% 60代:20.4% 70代:11.1% 80代:0.9% 無回答:2.2%		

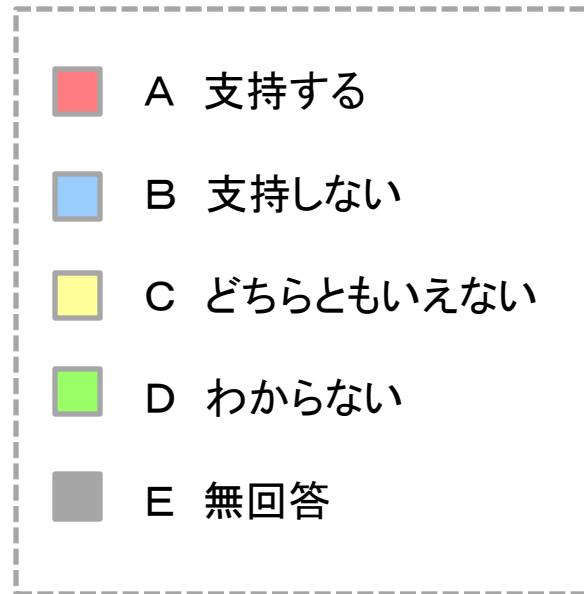
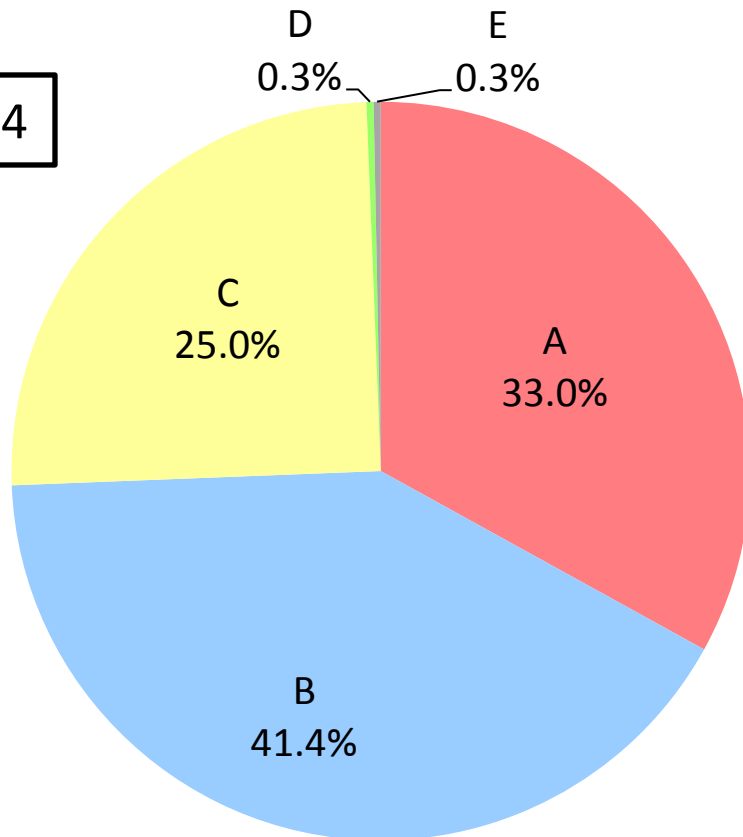
※この頁以降、数値は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

# 鳩山政権を支持するか

問1. あなたは、現在の鳩山政権を支持しますか。【単数回答】

100日時点での鳩山政権での支持率は33.0%、不支持率は41.4%となりました。「どちらともいえない」も4分の1にのぼっています。

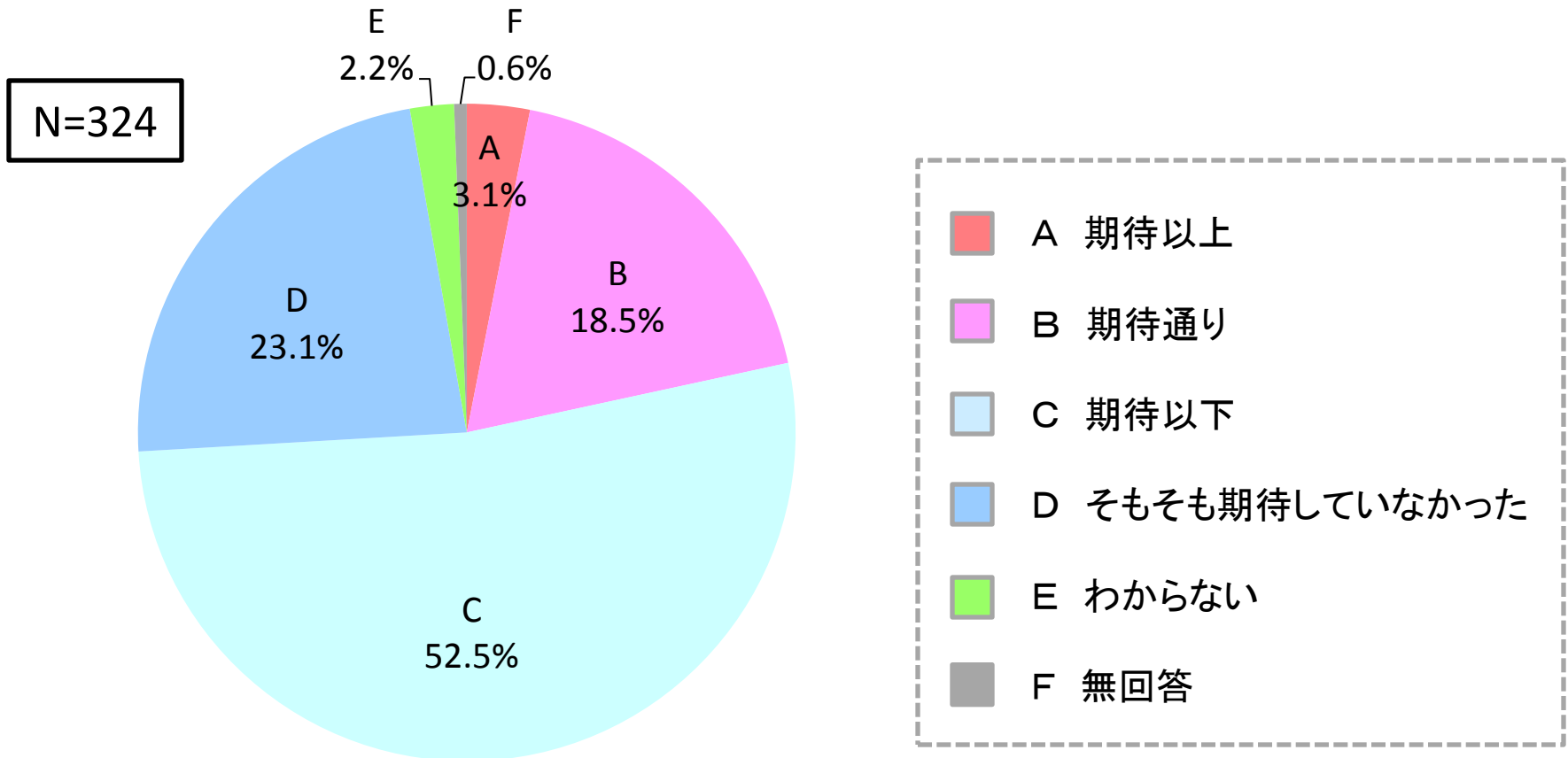
N=324



# 当初の期待と比べて

問2. 現在までの鳩山政権は、あなたが発足時に抱いていた期待に比べどうでしたか。  
【単数回答】

発足時と比べたときに、半数(52.5%)が「期待以下」と評価しています。

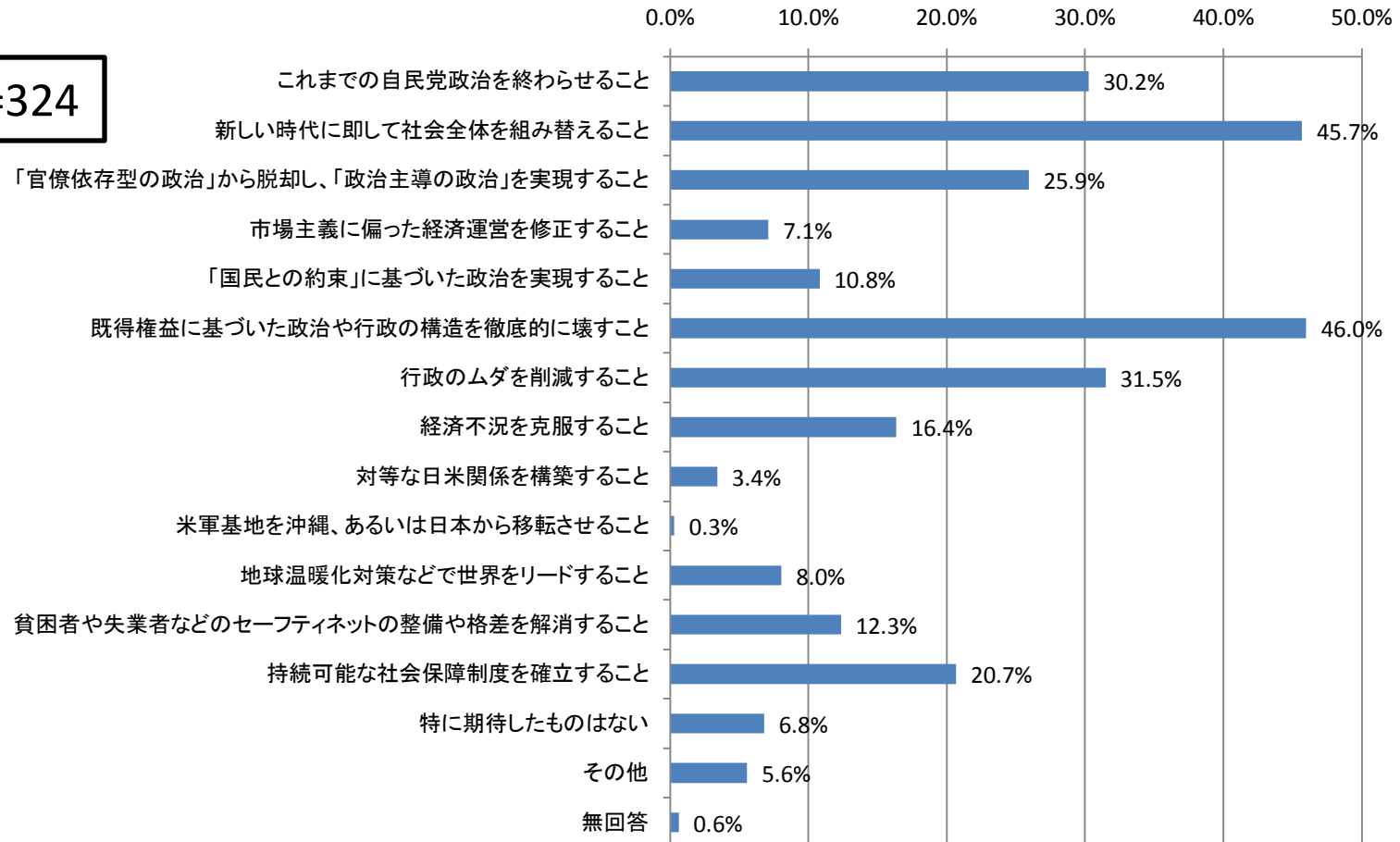


# 鳩山政権に期待した役割とは

問3. あなたが鳩山政権に期待した役割は何ですか。【3つまで回答】

最も多かった回答は「既得権益に基づいた政治や行政の構造を徹底的に壊すこと」(46.0%)、次に多かったのは「新しい時代に即して社会全体を組み替えること」(45.7%)でした。「米軍基地を沖縄、あるいは日本から移転させること」(0.3%)や「対等な日米関係を構築すること」(3.4%)との回答は5%以下にとどまりました。

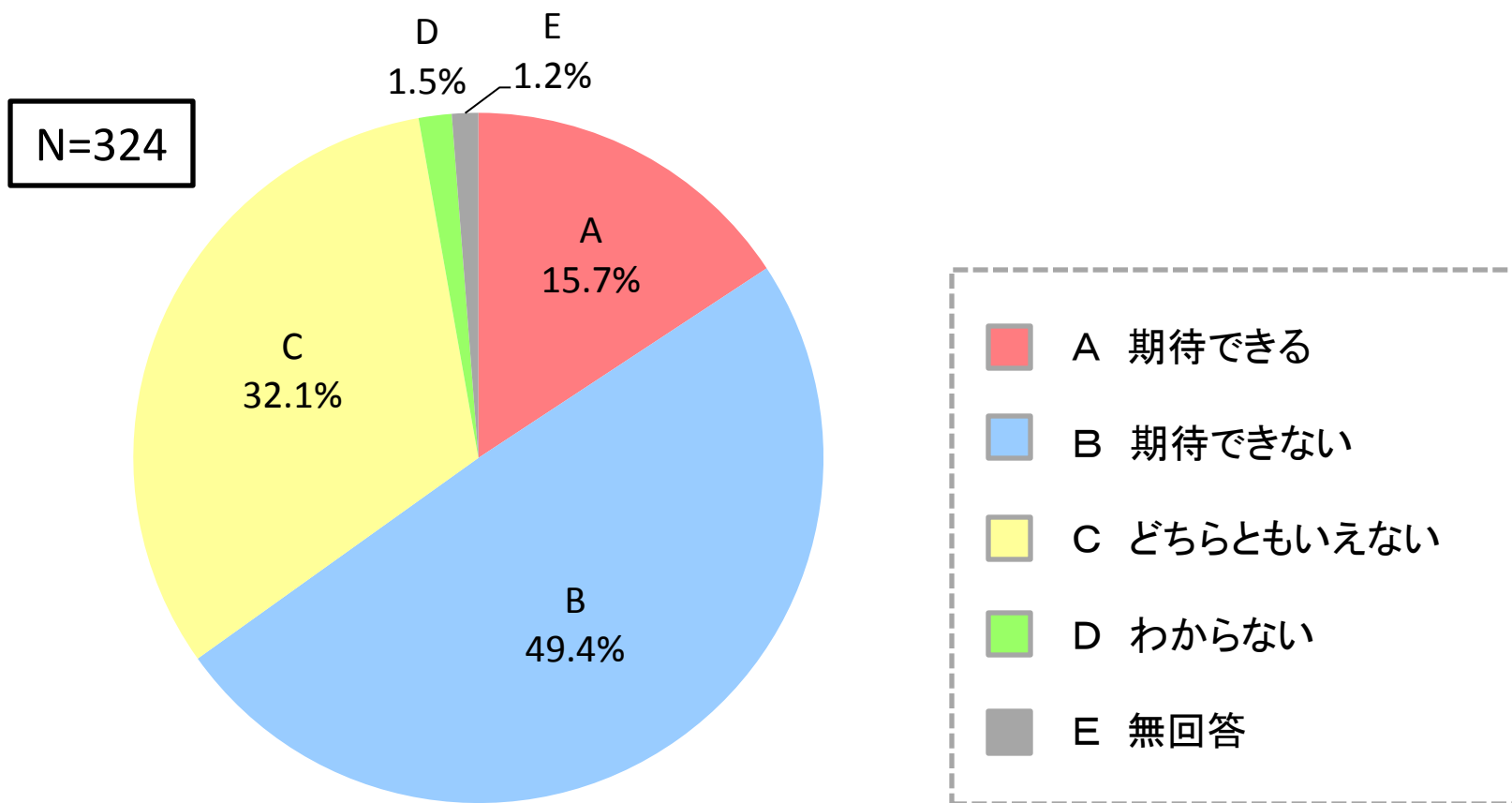
N=324



# 今後の政権運営に期待できるか

問4. 鳩山政権の100日間をご覧になって、鳩山政権の今後の政策運営にあなたは期待できますか。【単数回答】

今後の政権運営については半数(49.4%)が「期待できない」と回答しています。「期待できる」と答えた人は15.7%にすぎませんでした。

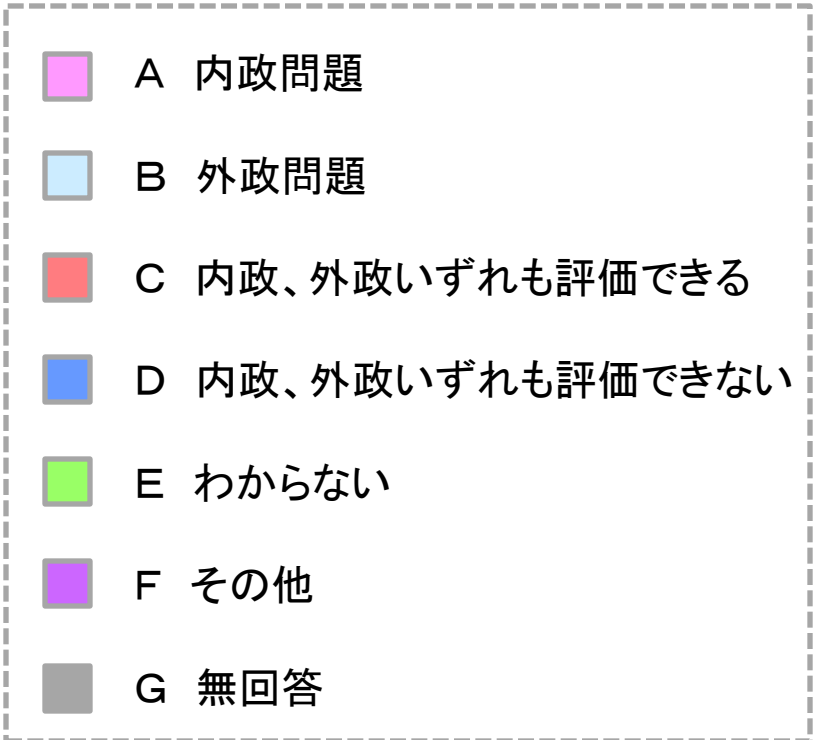
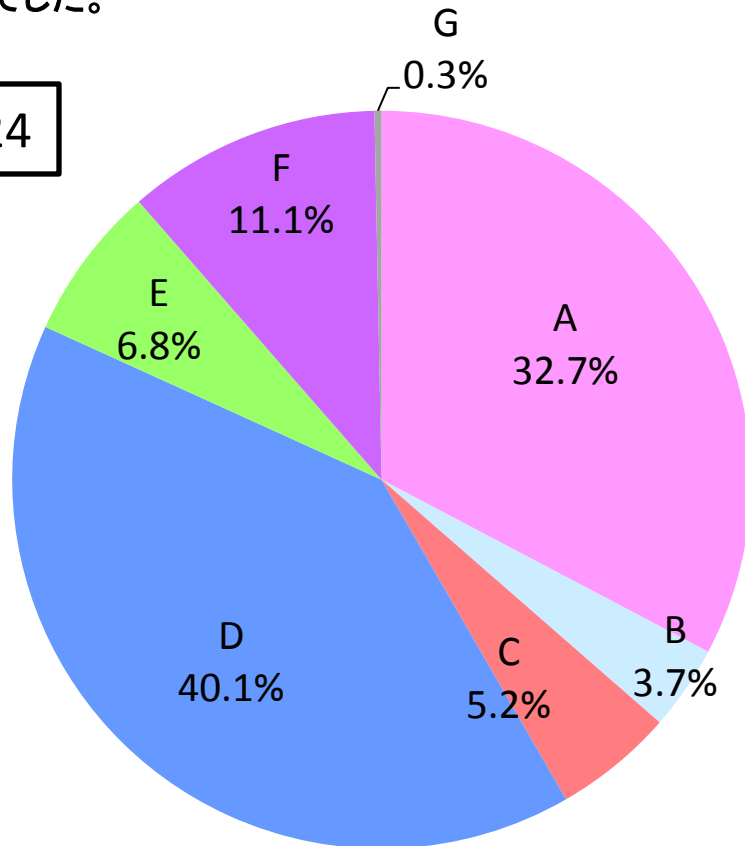


# 100日間で評価できるものは

問5. 鳩山政権のこれまでの100日間で、評価できるものは何だと思えますか。【単数回答】

内政問題、外政問題に対する鳩山政権の取り組みについて、最も多かったのは「内政、外政いずれも評価できない」との回答で、40.1%にのぼりました。「いずれも評価している」と答えた人はわずか5.2%でした。

N=324

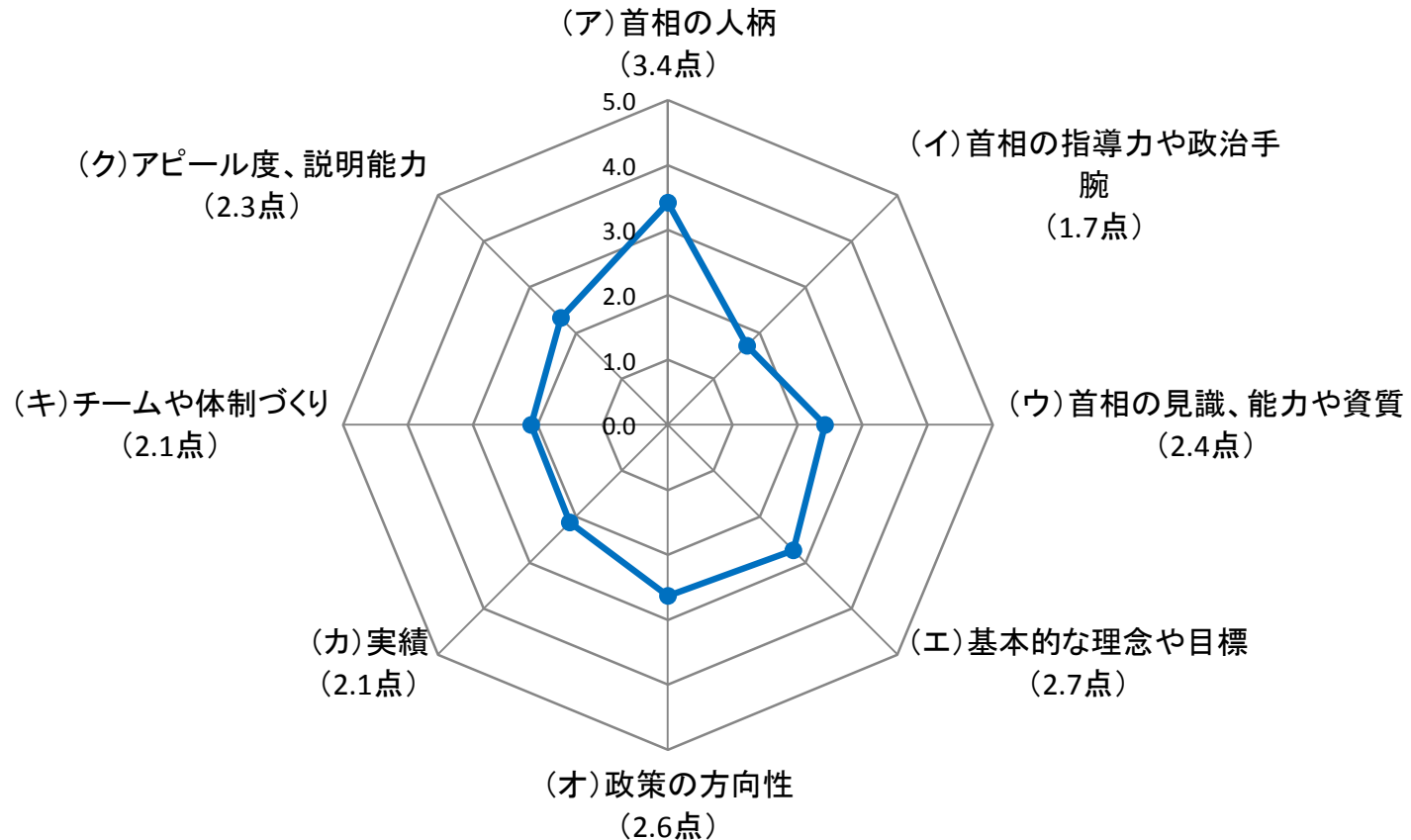


# 鳩山政権の全体評価—首相の評価①

問6. 鳩山政権の100日間をご覧になって、首相の実績や資質をあなたはどう評価しますか。【単数回答】

首相の「100日間の実績」や「首相の資質」は5点満点で2.4点。「人柄」への評価は高いものの、「指導力」は1.7点と自民党末期の麻生政権に並ぶ水準です。

全体平均:2.4点

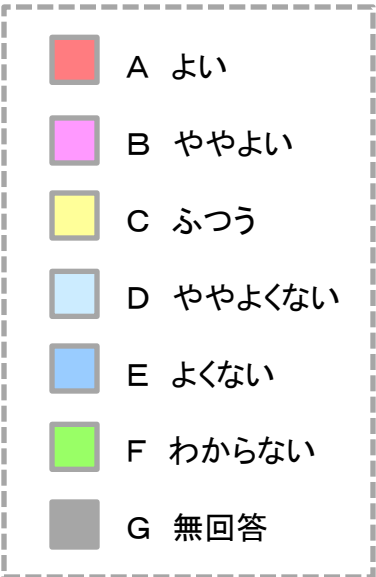
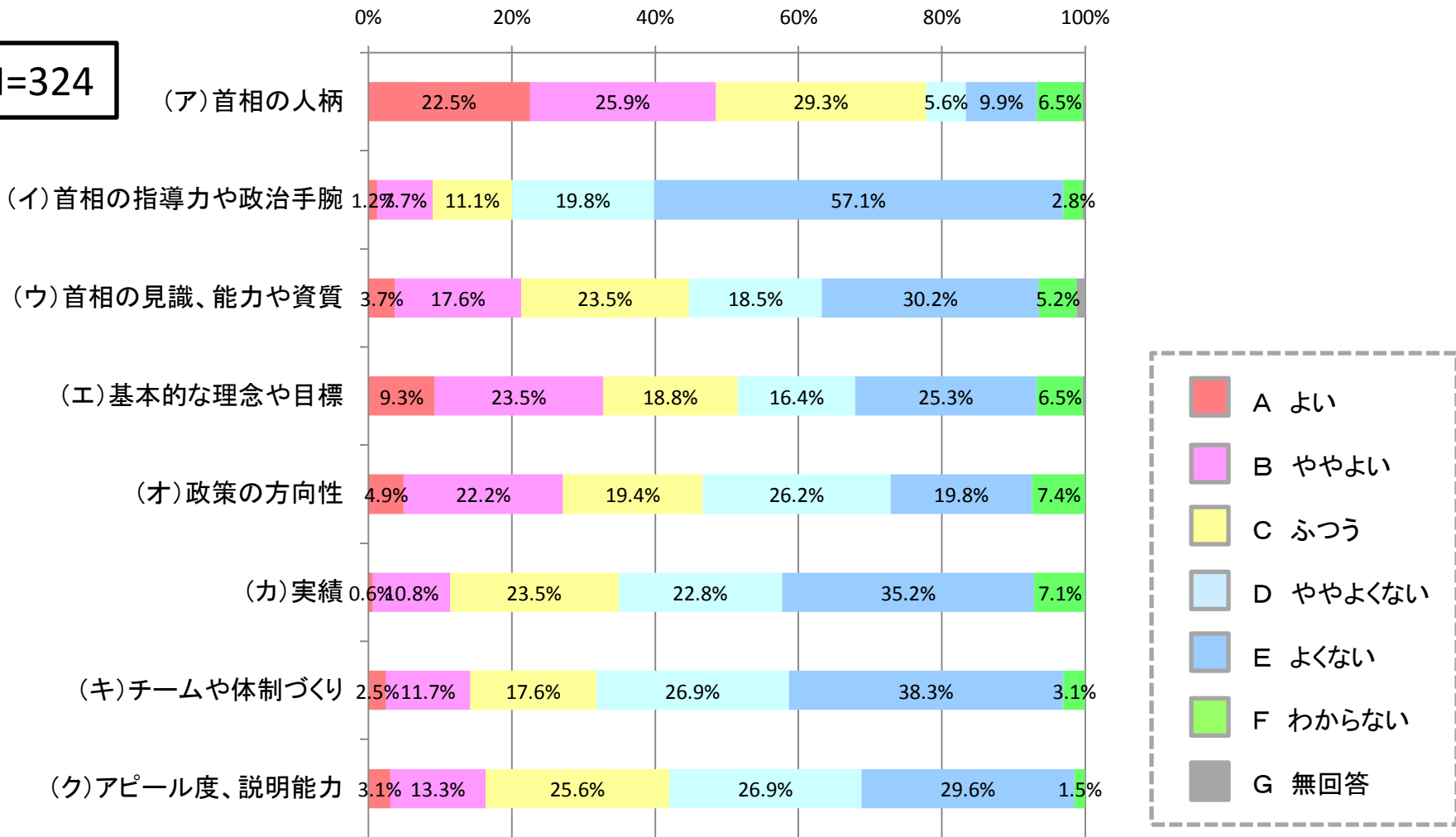




# 鳩山政権の全体評価—首相の評価②

問6. 鳩山政権の100日間をご覧になって、首相の実績や資質をあなたはどのように評価しますか。【単数回答】

N=324

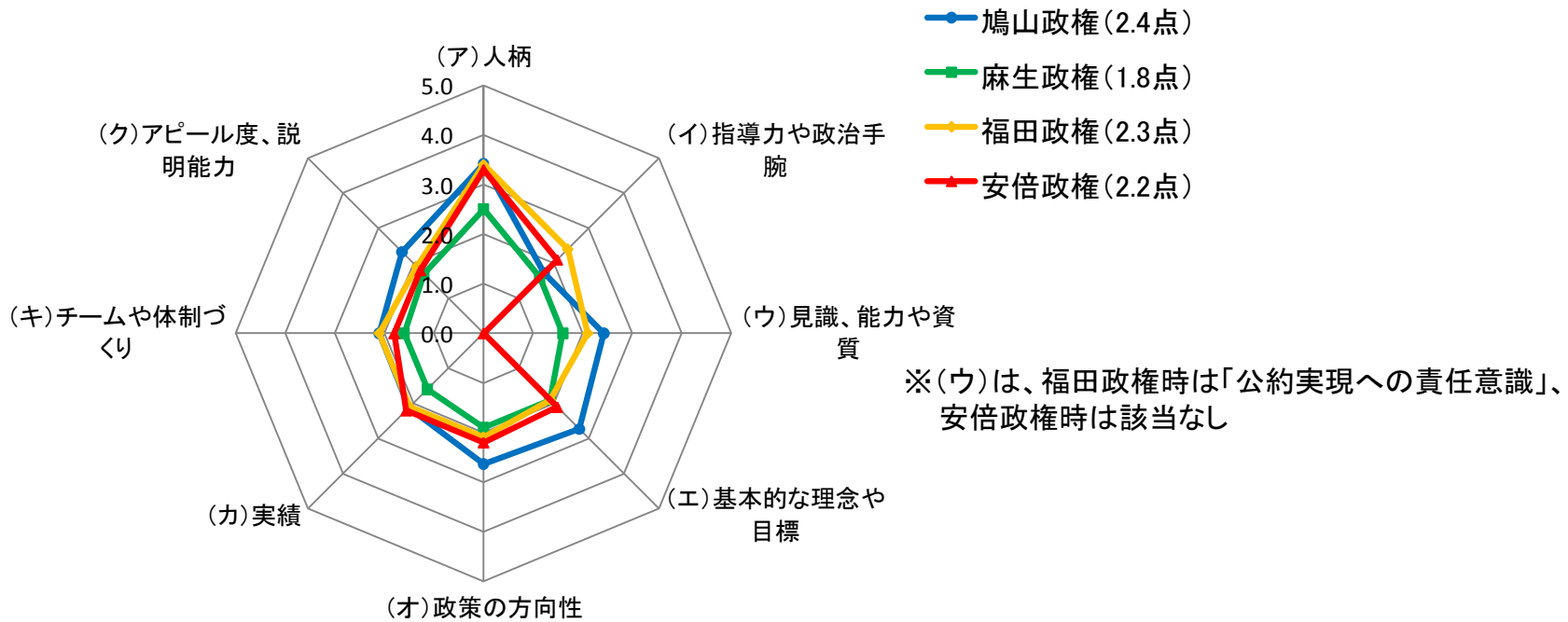


# 鳩山政権の全体評価—首相の評価③

## (過去3政権との比較)

問6. 鳩山政権の100日間をご覧になって、首相の実績や資質をあなたはどう評価しますか。【単数回答】

政権の全体評価(4政権の比較)



	総合点	(ア)人柄	(イ)指導力や政治手腕	(ウ)見識、能力や資質	(エ)基本的な理念や目標	(オ)政策の方向性	(カ)実績	(キ)チームや体制づくり	(ク)アピール度、説明能力
鳩山政権	2.4	3.4	1.7	2.4	2.7	2.6	2.1	2.1	2.3
麻生政権	1.8	2.5	1.6	1.6	1.9	1.9	1.6	1.6	1.7
福田政権	2.3	3.4	2.4	2.1	1.9	2.1	2.1	2.1	1.9
安倍政権	2.2	3.3	2.1	該当なし	2.1	2.2	2.2	1.8	1.8

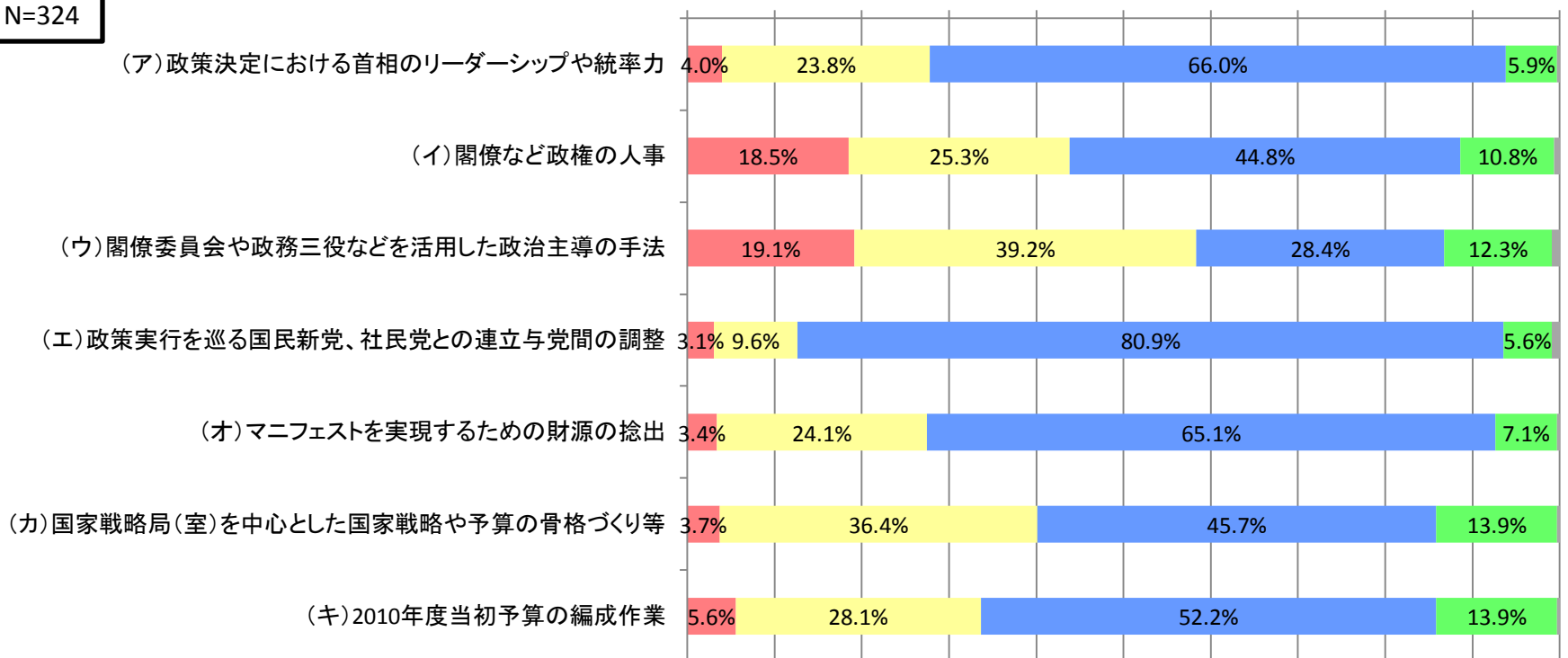
# 鳩山政権の政策をどう評価するか①

問7. 鳩山政権のこれまでの対応や打ち出している政策について、あなたはどのように思いますか。【単数回答】

鳩山政権がこの100日で手がけた29項目の政策分野で、「うまく対応できておらず、今後も期待できない」が半数を超えるのは普天間の基地移転等11項目に及んでおり、「適切」「今後期待できる」が半数を超えたのは6項目に過ぎませんでした。

■ 適切である ■ うまく対応できていないが、今後期待できる ■ うまく対応できておらず、今後も期待できない ■ わからない ■ 無回答

N=324

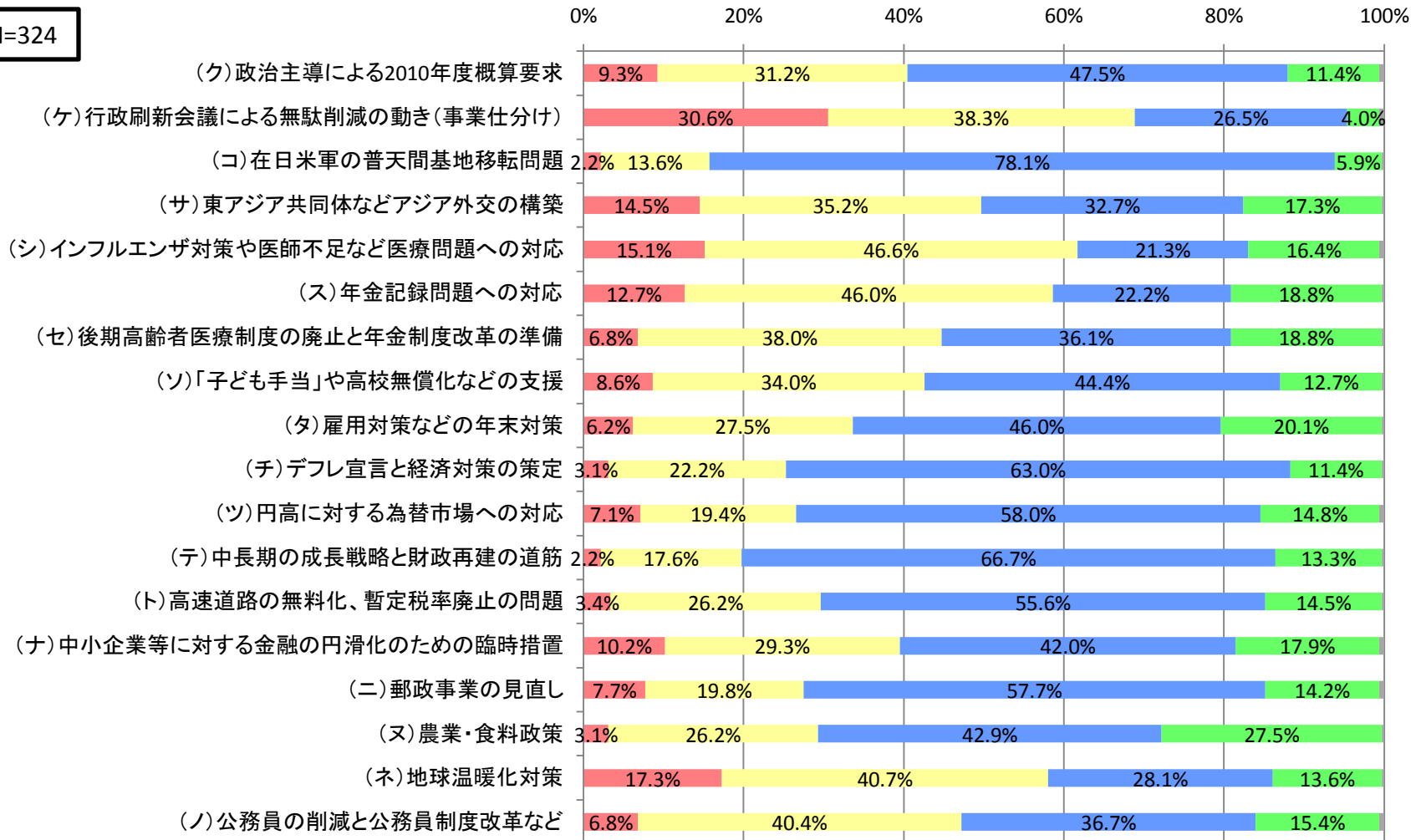


# 鳩山政権の政策をどう評価するか②

問7. 鳩山政権のこれまでの対応や打ち出している政策について、あなたはどう思いますか。【単数回答】

■ 適切である ■ うまく対応できていないが、今後期待できる ■ うまく対応できておらず、今後も期待できない ■ わからない ■ 無回答

N=324



# 各閣僚の取り組みをどう評価するか

## ①実行力

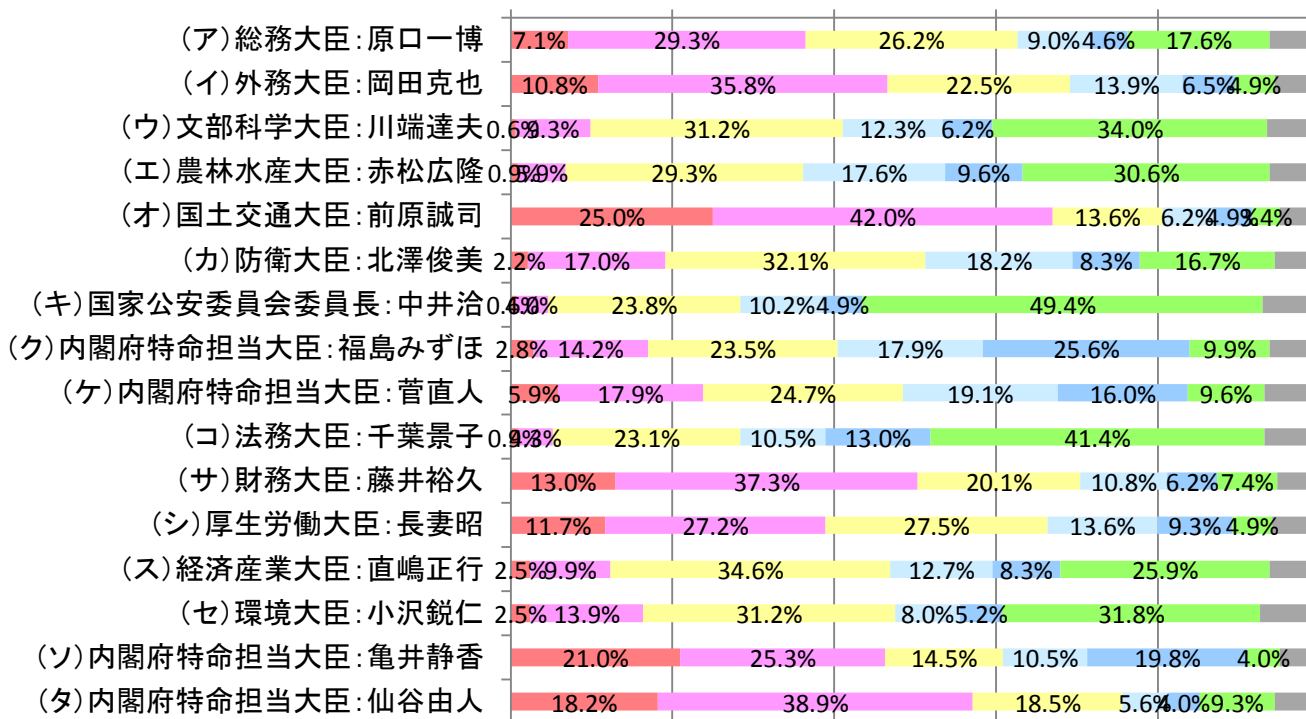
問8. 鳩山政権の100日間をご覧になって、16名の閣僚による取り組みを、あなたはどうか評価しますか。【単数回答】

閣僚の評価でプラスの評価が半数を超えたのは、「実行力」で前原、仙谷、藤井の3大臣、「官僚を使いこなす能力」では藤井大臣のみ、「国民に対するアピール度」では前原、仙谷の2大臣でした。「わからない」が3分野で共通して多かったのは中井、千葉の2大臣です。

「実行力」に関してプラスの回答が合わせて半数を超えたのは、前原国土交通大臣、仙谷行政刷新担当大臣、藤井財務大臣の3氏だけでした。「どちらかといえば評価できない」「評価できない」との回答が相対的に多かったのは福島消費者等担当大臣の(43.5%)、国家戦略担当の菅大臣の(35.0%)でした。

■ 非常に評価できる ■ どちらかといえば評価できる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば評価できない ■ 全く評価できない ■ わからない ■ 無回答

N=324



# 各閣僚の取り組みをどう評価するか

## ② 官僚を使いこなす能力

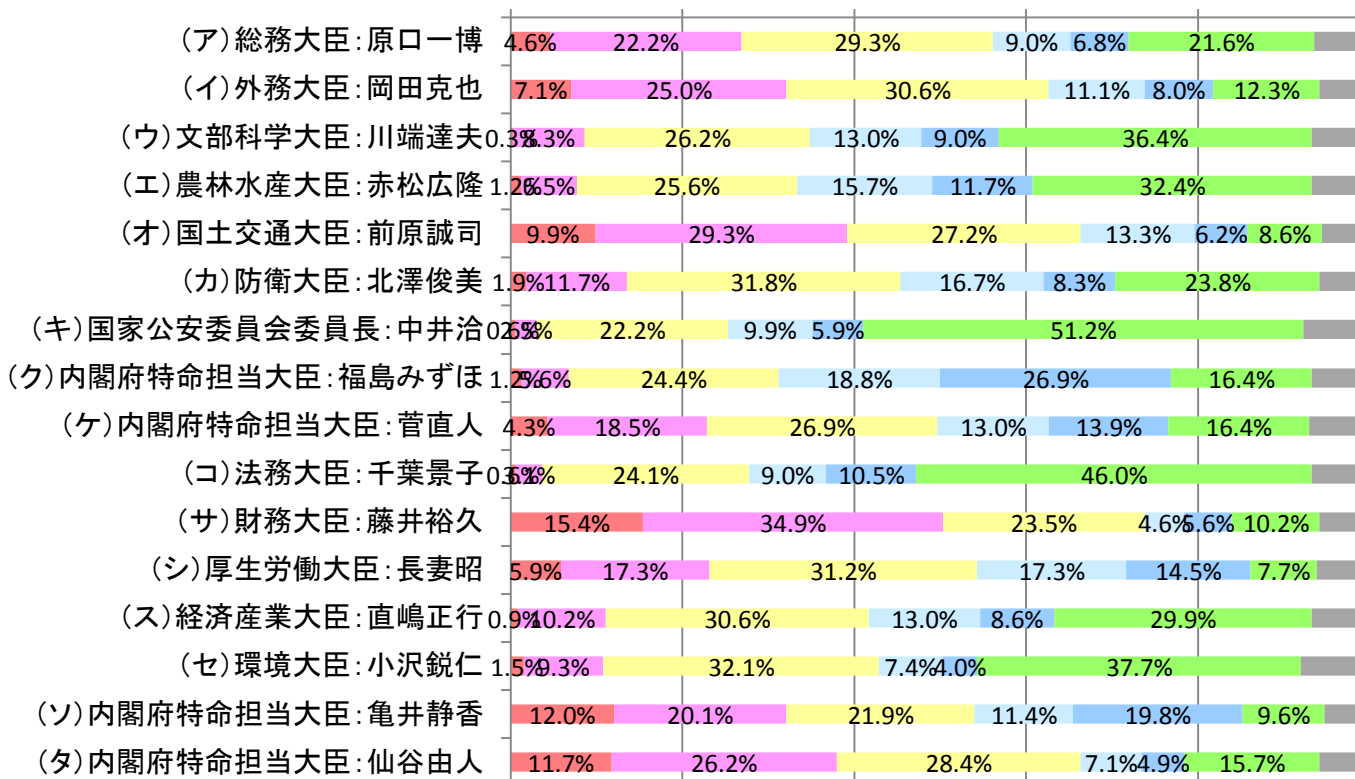
問8. 鳩山政権の100日間をご覧になって、16名の閣僚による取り組みを、あなたはどうか評価しますか。【単数回答】

「官僚を使いこなす能力」について「非常に評価できる」と「どちらかといえば評価できる」の合計が半数を超えたのは財務大臣の藤井氏(50.3%)だけでした。逆に「官僚を使いこなす能力」でどちらかといえば評価できない「評価できない」との回答が相対的に多かったのは福島大臣の45.7%、長妻大臣の31.8%でした。

■ 非常に評価できる ■ どちらかといえば評価できる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば評価できない ■ 全く評価できない ■ わからない ■ 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

N=324



# 各閣僚の取り組みをどう評価するか

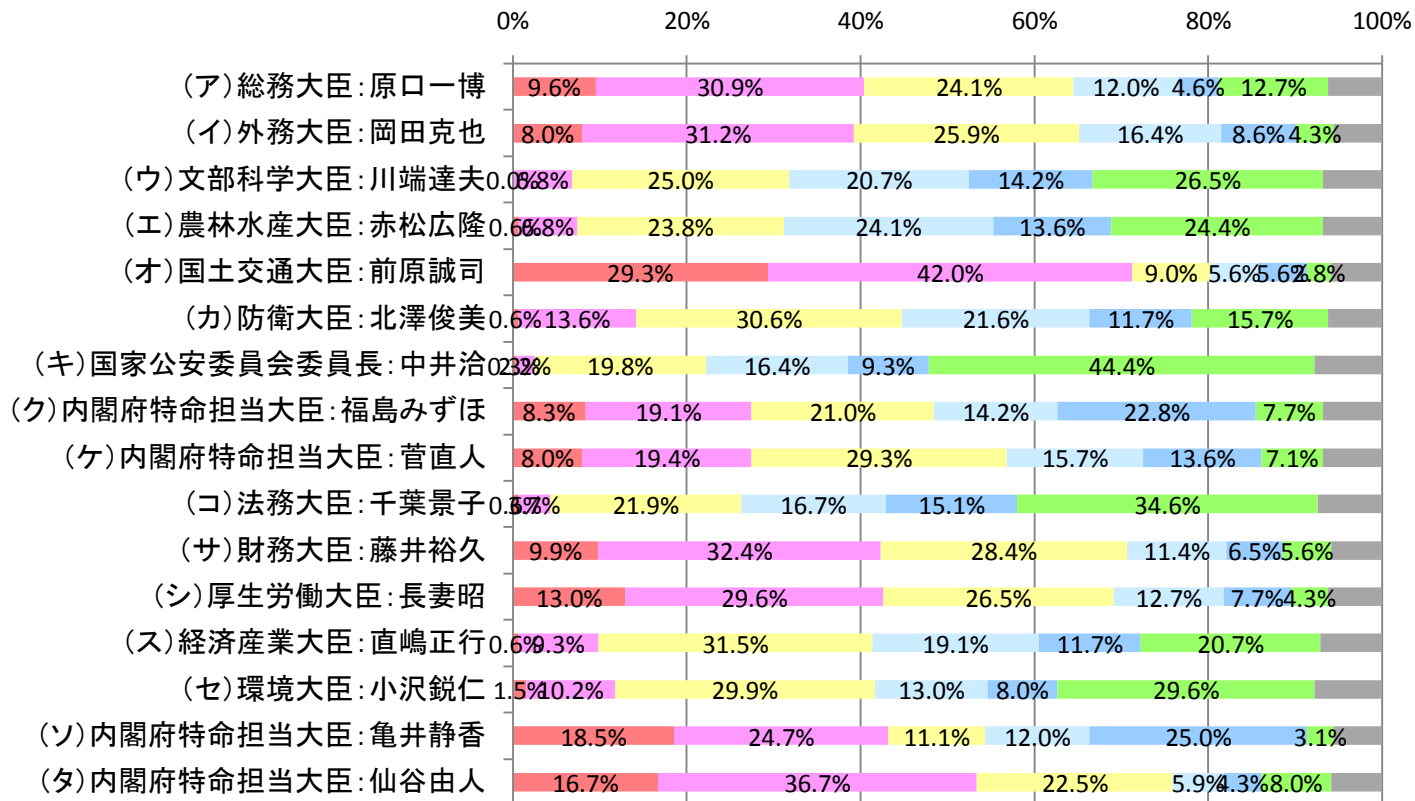
## ③国民に対するアピール度

問8. 鳩山政権の100日間をご覧になって、16名の閣僚による取り組みを、あなたはどうか評価しますか。【単数回答】

「国民に対するアピール度」で、プラスの評価が半数を越えたのは、前原大臣の(71.3%)と仙谷大臣の53.4%でした。いっぽうで「どちらかといえば評価できない」「全く評価できない」というマイナスの回答が相対的に多かったのは農水大臣の赤松氏(37.7%)、福島大臣(37.0%)、文部科学大臣の川端氏(34.9%)などです。郵政改革担当大臣の亀井氏に関してはプラスの評価が43.2%、マイナスの評価が37.0%と見方が分かれています。

■非常に評価できる ■どちらかといえば評価できる ■どちらともいえない ■どちらかといえば評価できない ■全く評価できない ■わからない ■無回答

N=324



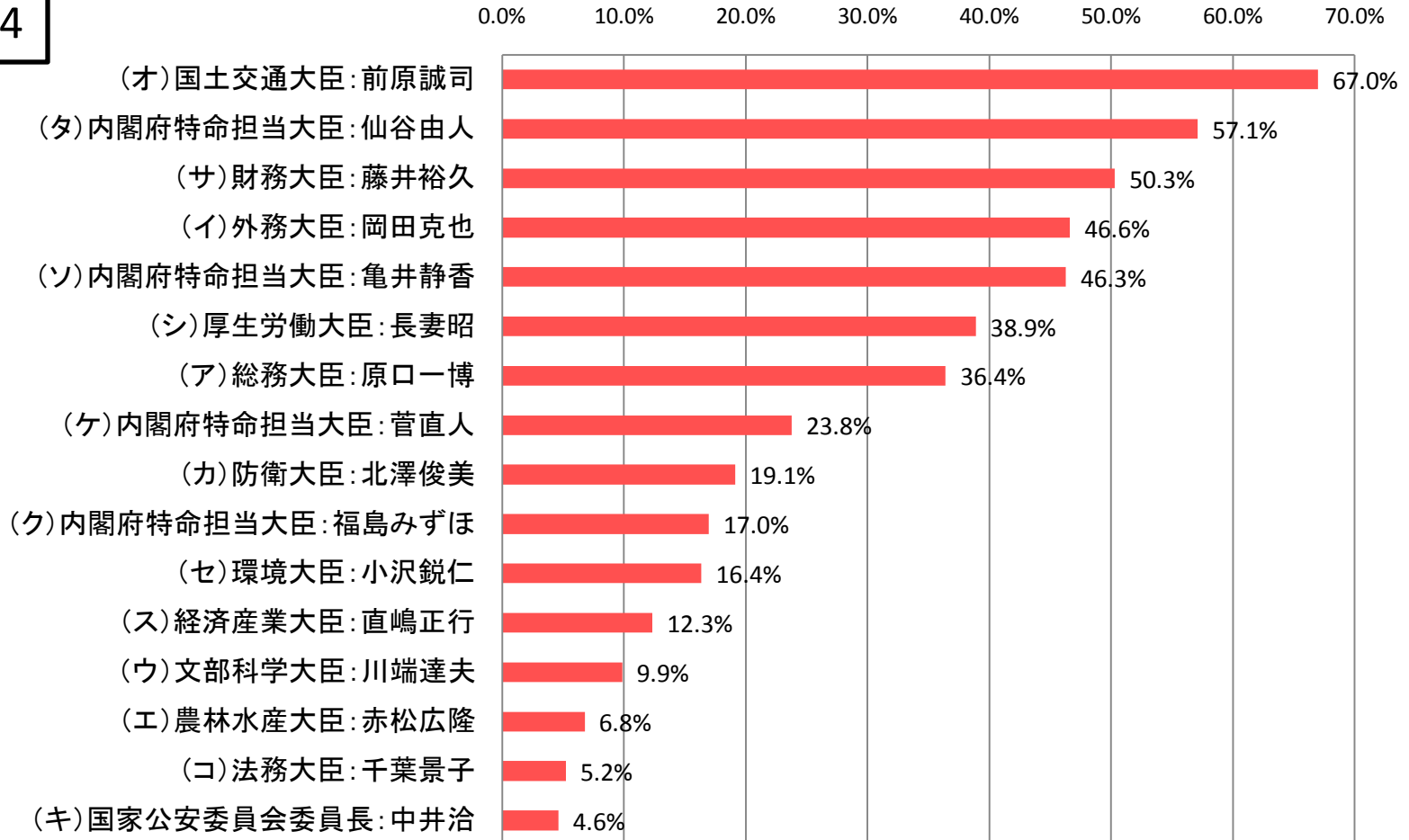
# 参考：各閣僚の取り組みをどう評価するか

## ①実行力ランキング

問8. 鳩山政権の100日間をご覧になって、16名の閣僚による取り組みを、あなたはどうか評価しますか。【単数回答】

N=324

### 実行力





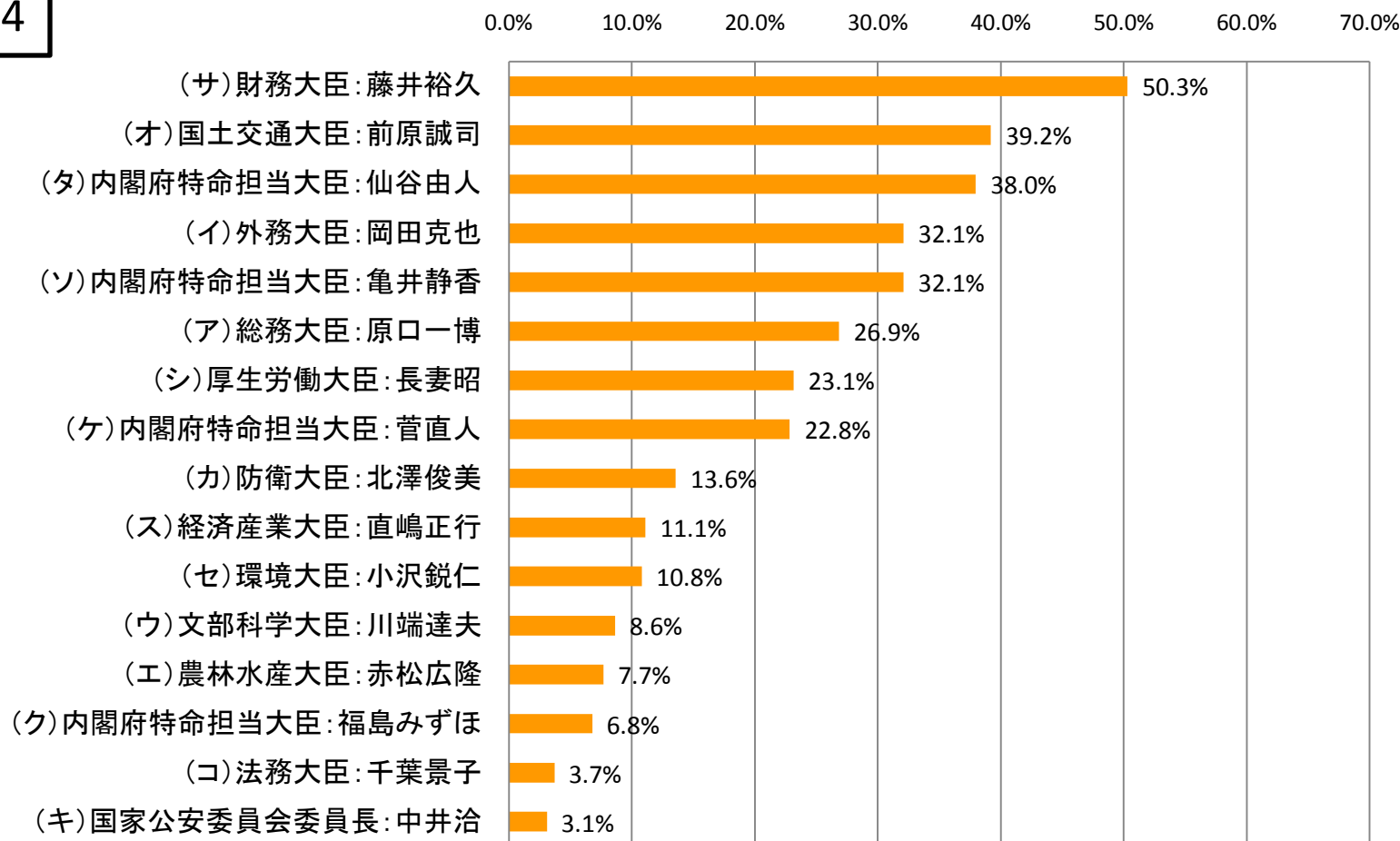
# 参考：各閣僚の取り組みをどう評価するか

## ② 官僚を使いこなす能力ランキング

問8. 鳩山政権の100日間をご覧になって、16名の閣僚による取り組みを、あなたはどうか評価しますか。【単数回答】

### 官僚を使いこなす能力

N=324



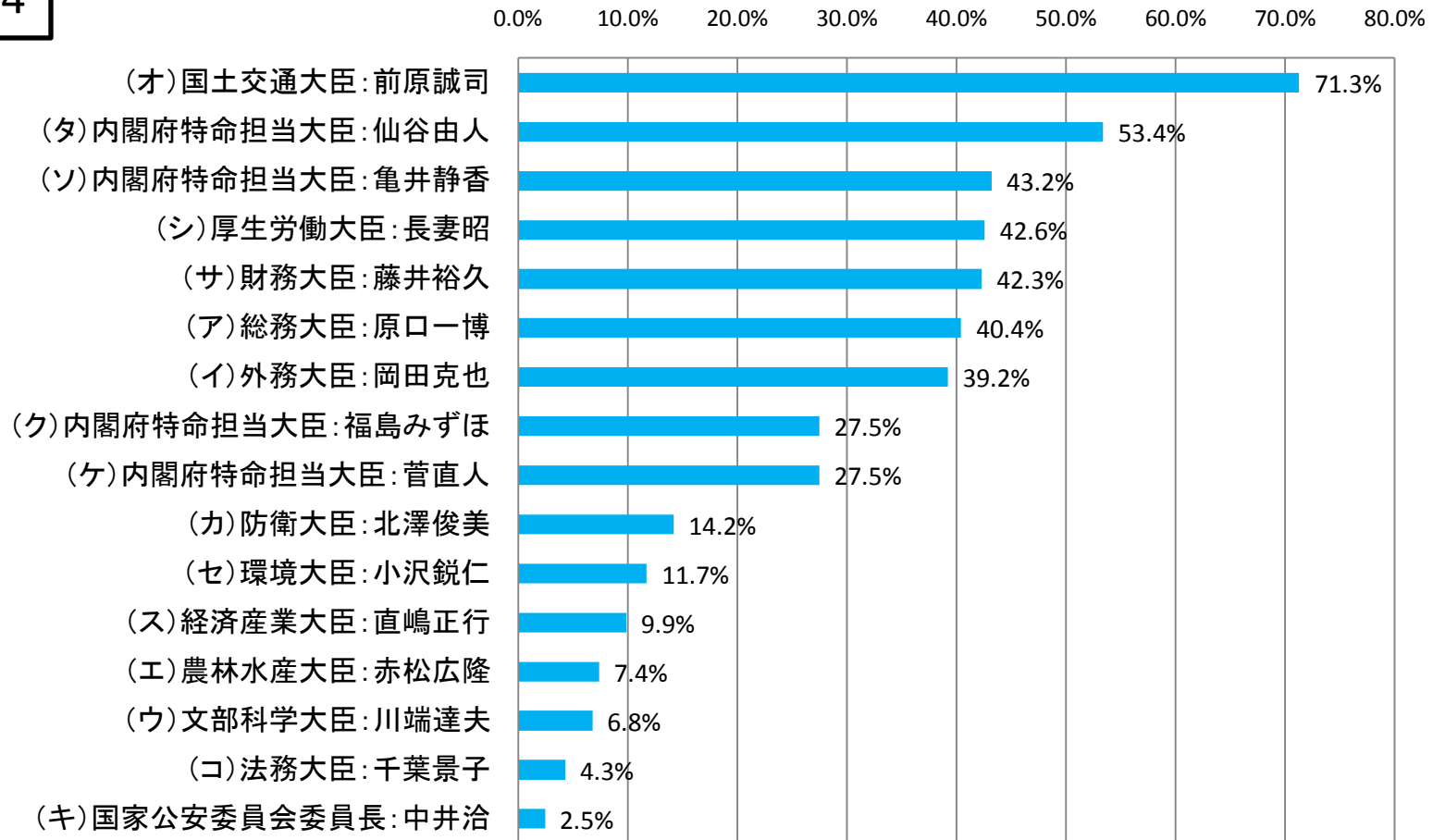
# 参考：各閣僚の取り組みをどう評価するか

## ③国民に対するアピール度

問8. 鳩山政権の100日間をご覧になって、16名の閣僚による取り組みを、あなたはどうか評価しますか。【単数回答】

N=324

### 国民に対するアピール度

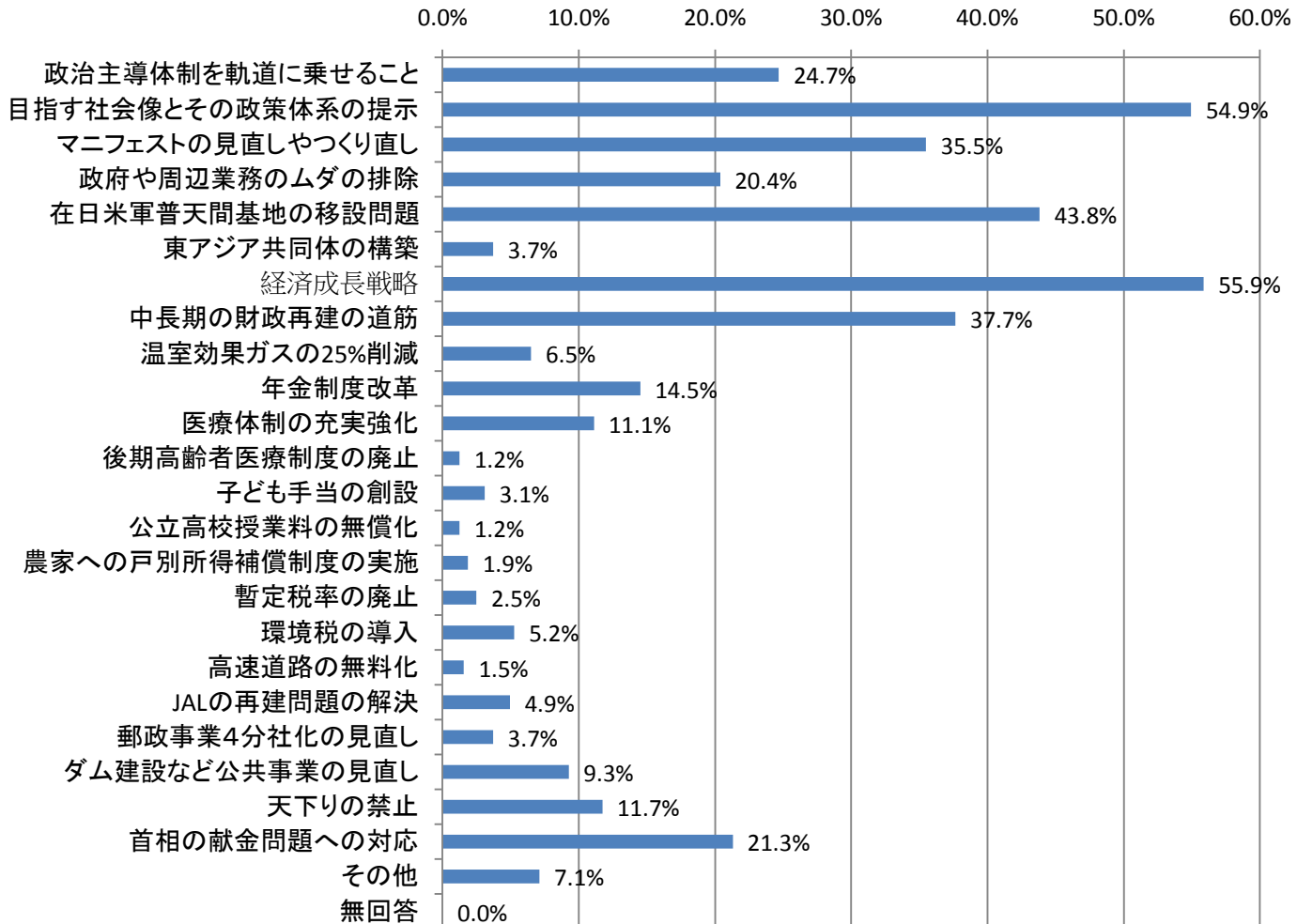


# 鳩山政権が優先して取り組むべきものは

問9. あなたは、鳩山政権が来年度予算の編成後、来年7月の参議院選挙までに優先して進めるべきもの、解決すべきものは何だと思いますか。【4つまで回答】

鳩山政権が来年の参議院選挙までに優先して取り組むべき課題として最も多い回答は「経済成長戦略」と、「目指す社会像とその政策体系の提示」です。

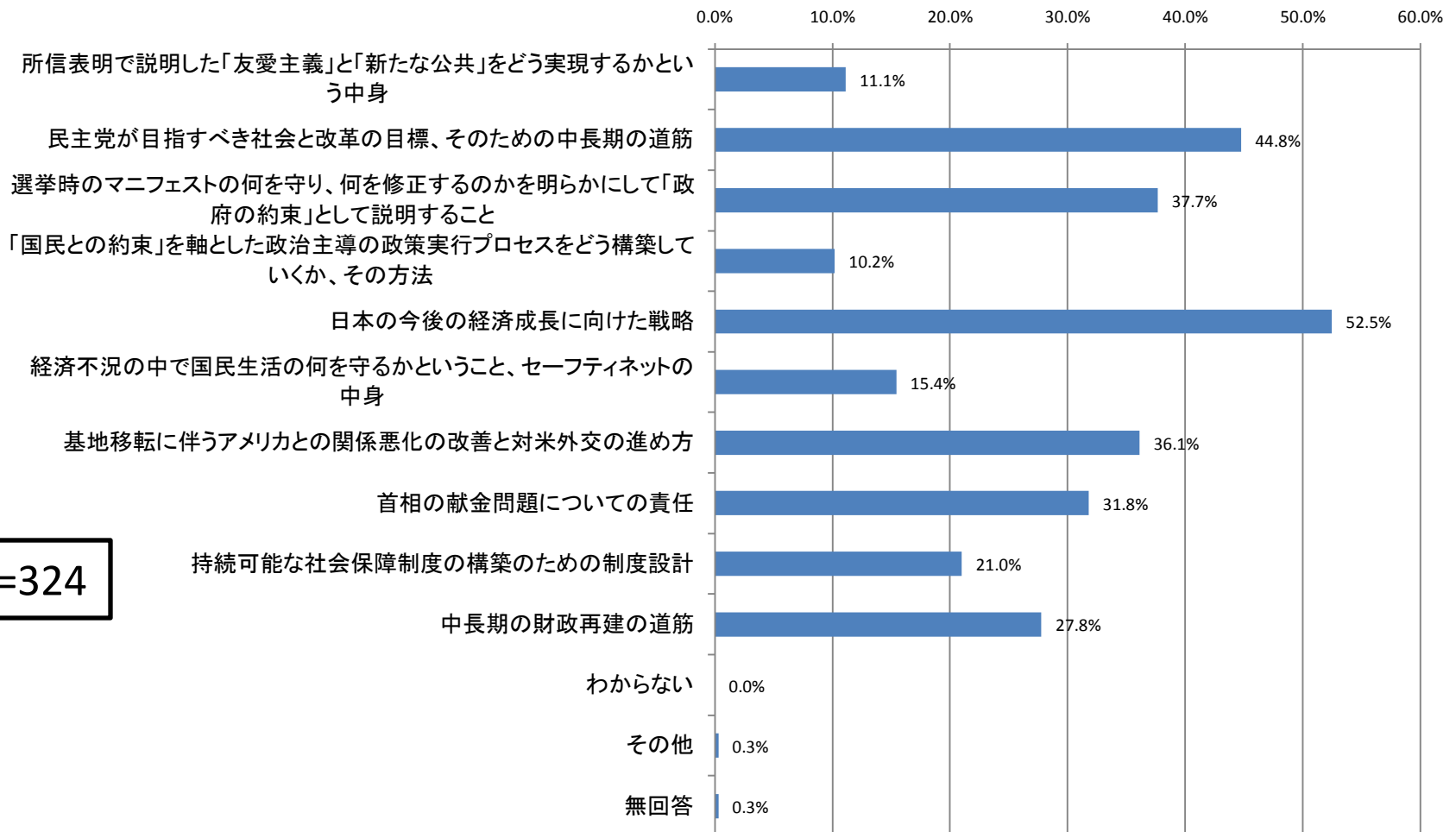
N=324



# 鳩山政権が説明を求められているものは

問10. あなたは、鳩山首相が現在、国民への説明を求められている最も大きな課題とは何だと思いますか。【3つまで回答】

鳩山政権が国民に説明を問われている課題で、最も多かった回答は「日本の今後の経済成長に向けた戦略」と「民主党が目指すべき社会と改革の目標、そのための中長期の道筋」です。

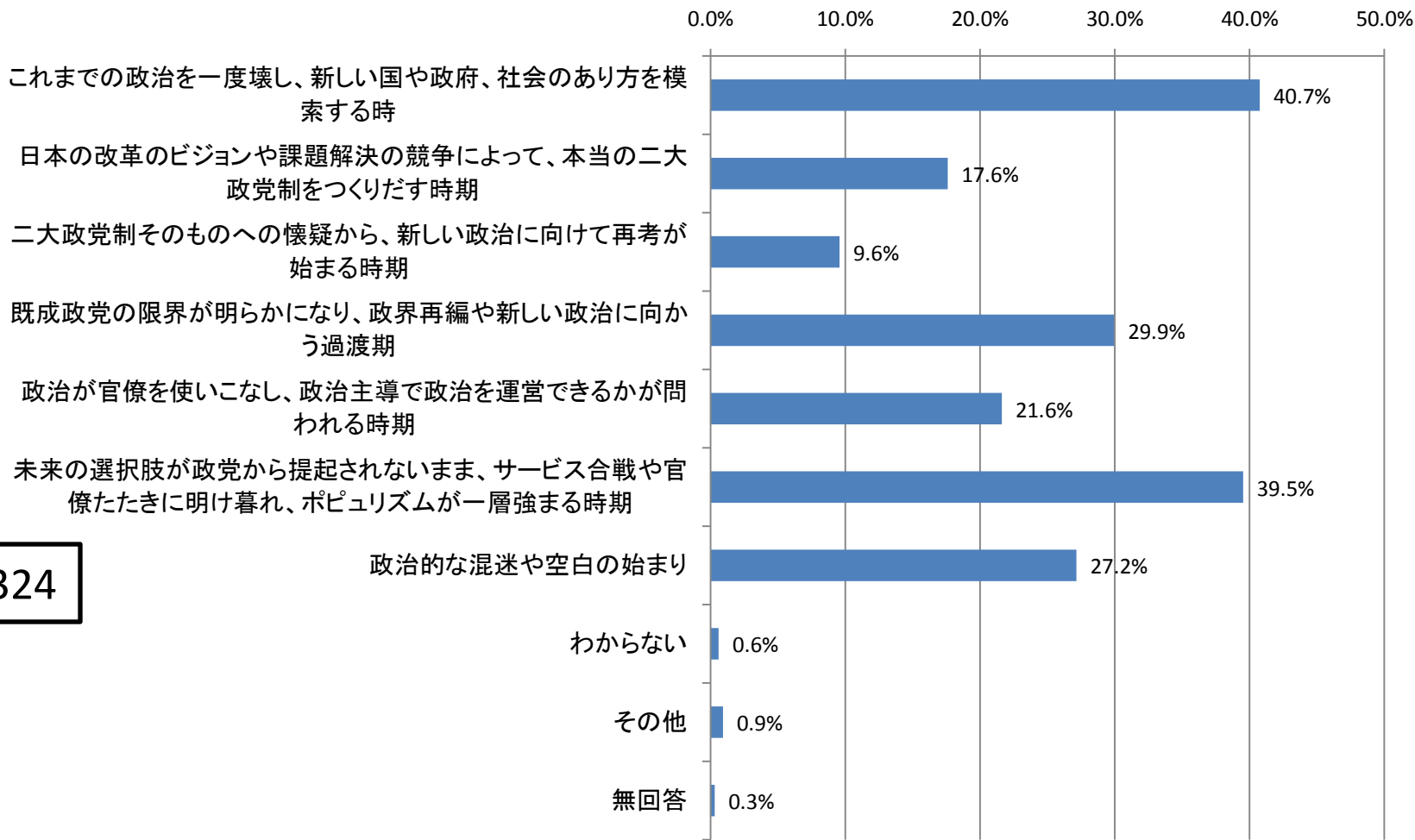


N=324

# 日本の政治の現状をどう見るか

問11. 鳩山政権の100日をご覧になって、あなたは、日本の政治の現状をどのように判断していますか。【2つまで回答】

日本の政治に変化を期待する人が多いものの、実際は「ポピュリズムが一層強まる時期」と不安視する回答も多いことがわかりました。



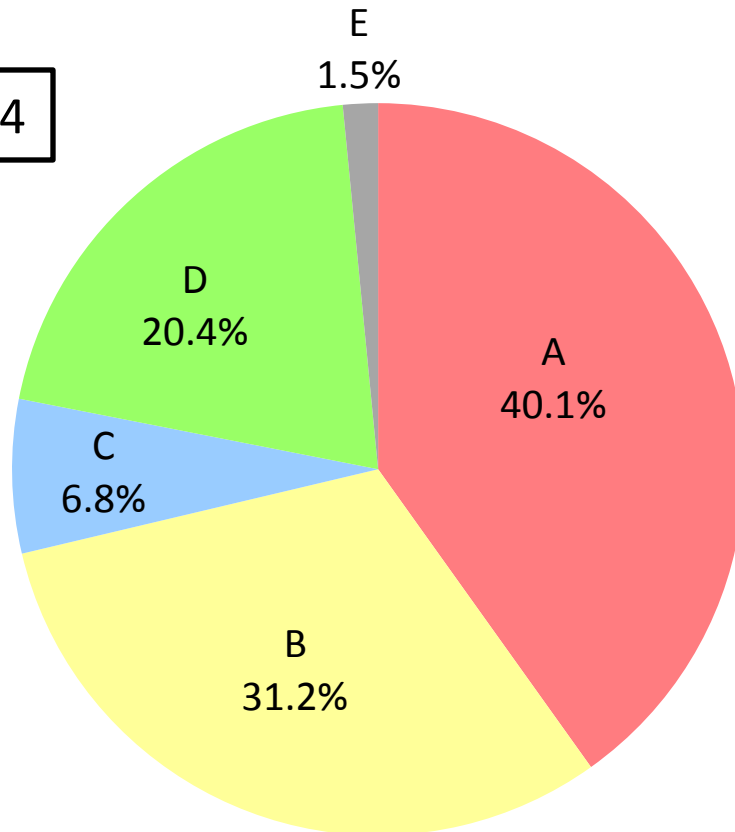
N=324

# 鳩山政権はいつまで続くか

問12. あなたは、鳩山政権はいつまで続くと思いますか。【単数回答】

約4割の人が「鳩山政権は来年7月の参議院選挙まで」と回答しています。

N=324



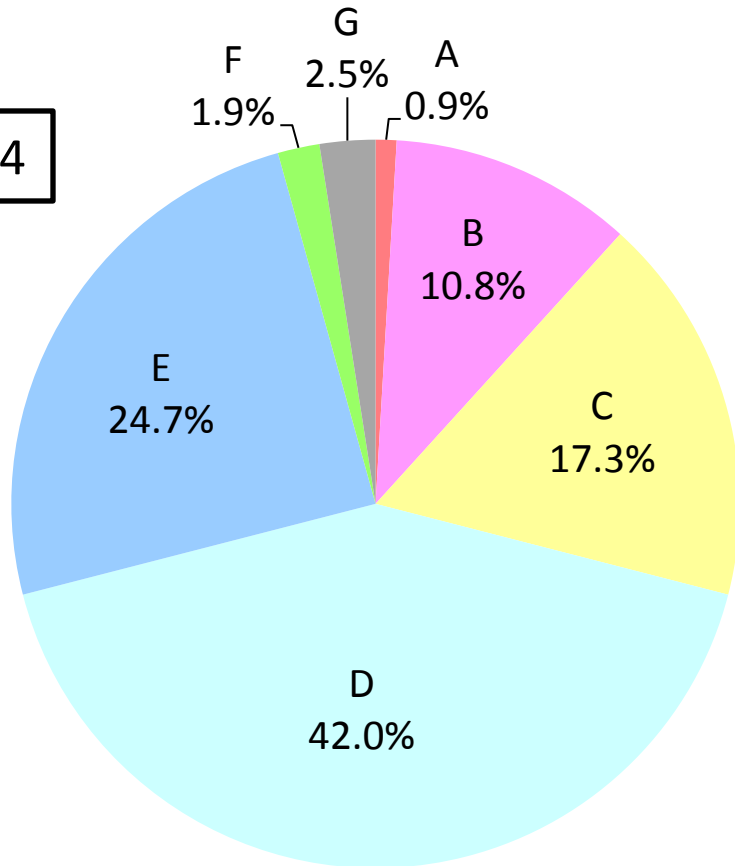
- A 来年7月の参議院選挙まで
- B 来年7月の参議院選挙から、衆議院の任期満了まで
- C 衆議院の任期満了後も続く
- D わからない
- E 無回答

# 今後の自民党に期待できるか

問13. あなたは、野党となった現在の自民党のこれからの期待できますか。【単数回答】

今の自民党に対して7割が「期待できない」と回答しています。

N=324

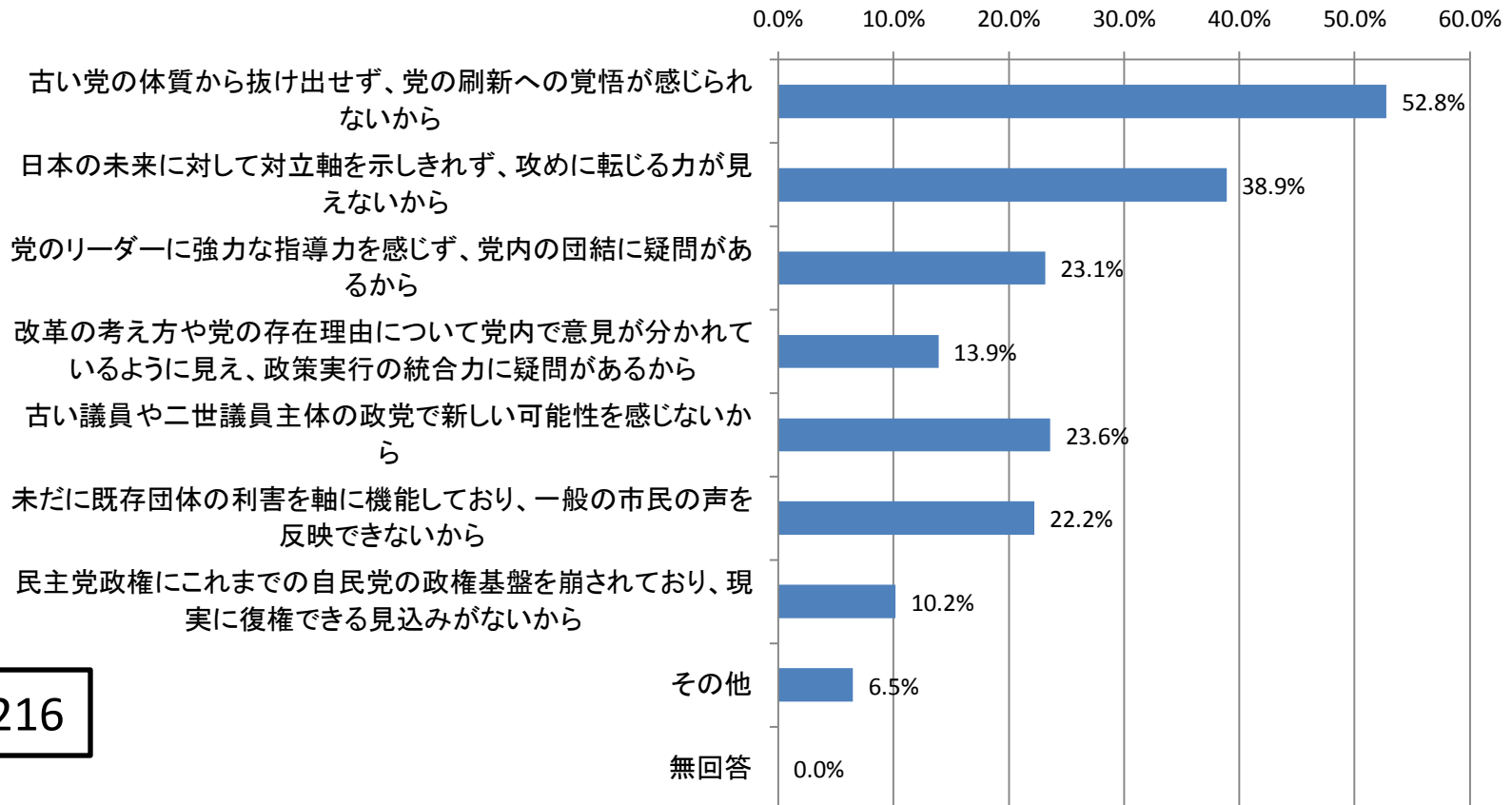


- A 非常に期待できる
- B どちらかといえば期待できる
- C どちらともいえない
- D どちらかといえば期待できない
- E 全く期待できない
- F わからない
- G 無回答

# なぜ自民党に期待できないのか

問13SQ. (問13で「どちらかといえば期待できない」「全く期待できない」と回答した方)  
そのように考えた最も大きな理由は何ですか。【2つまで回答】

自民党に期待できない理由として最も多かったのは「古い党の体質から抜け出せず、党の刷新への覚悟が感じられないから」の52.8%、次に多かったのは「日本の未来に対して対立軸を示しきれず、攻めに転じる力が見えないから」の38.9%でした。



N=216

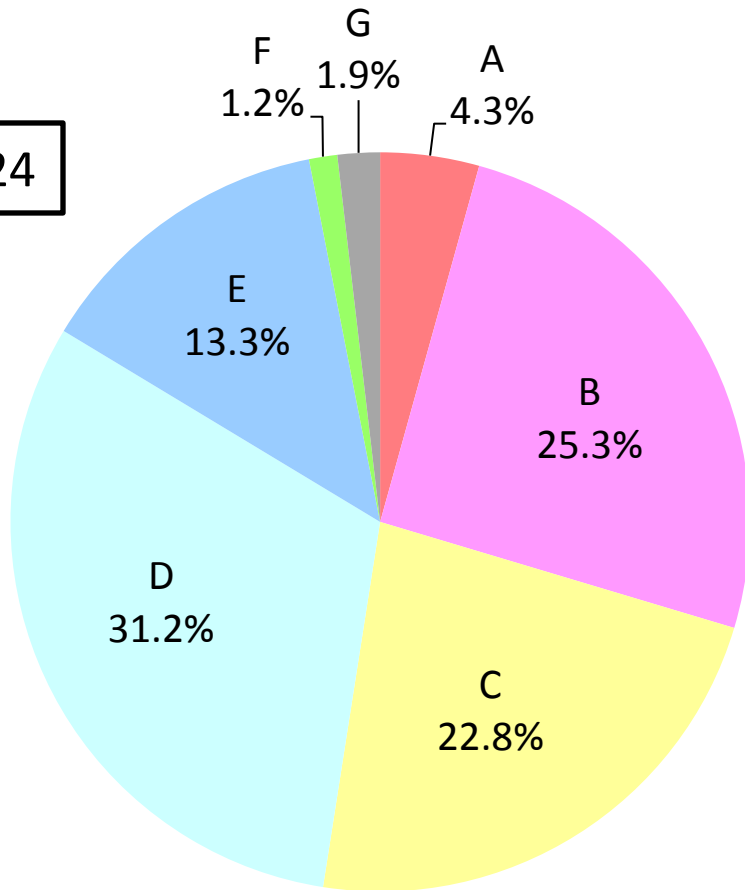


# 今後の民主党に期待できるか

問14. あなたは、政党としての民主党のこれからの期待できますか。【単数回答】

4割あまりが今後の民主党に「期待できない」と回答しています。

N=324

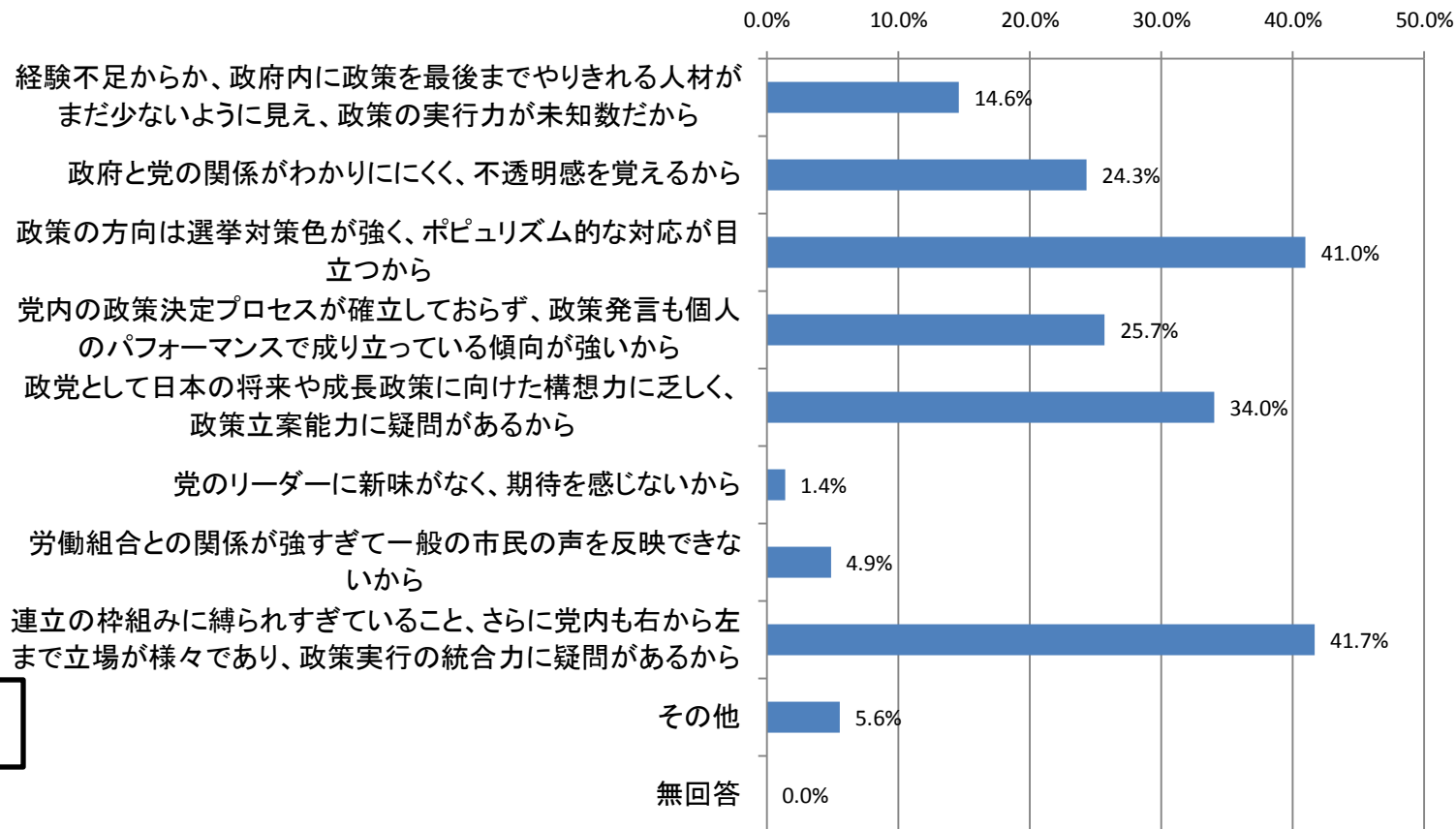


- A 非常に期待できる
- B どちらかといえば期待できる
- C どちらともいえない
- D どちらかといえば期待できない
- E 全く期待できない
- F わからない
- G 無回答

# なぜ民主党に期待できないのか

問14SQ. (問14で「どちらかといえば期待できない」「全く期待できない」と回答した方)  
そのように考えた最も大きな理由は何ですか。【2つまで回答】

民主党に期待できない理由としては、「連立の枠組みに縛られすぎていること、さらに党内も右から左まで立場が様々であり、政策実行の統合性に疑問があるから」(41.7%)、「政策の方向は選挙対策色が強く、ポピュリズム的な対応が目立つから」(41.0%)、「政党として日本の将来や成長政策に向けた構想力に乏しく、政策立案能力に疑問があるから」(34.0%)が特に多くの回答を集めました。



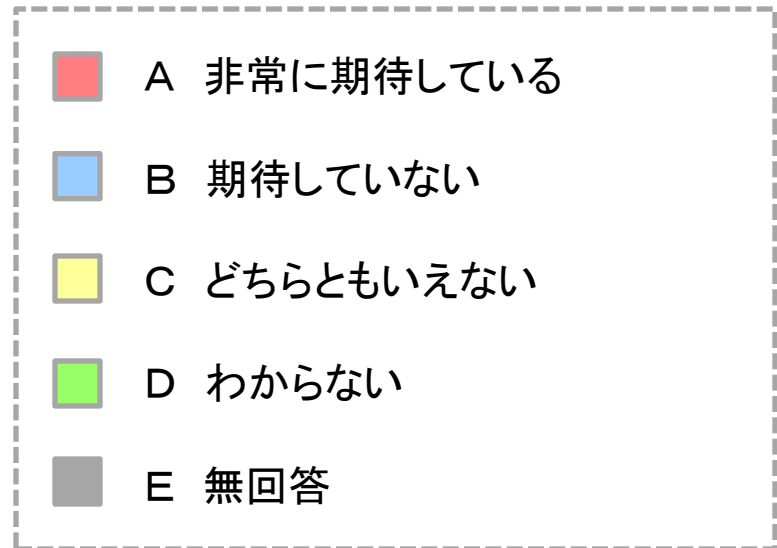
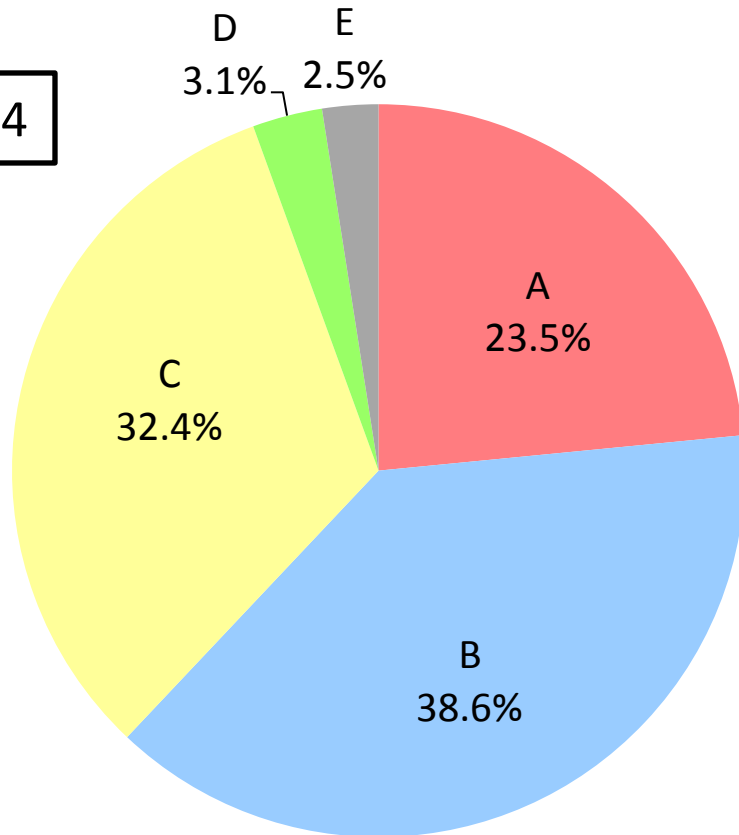
N=144

# 現在の日本の政党に期待しているか

問15. あなたは、現在の日本の既存政党に期待していますか。【単数回答】

現在の日本の政党について「期待していない」(38.6%)との回答が「期待している」(23.5%)との回答を上回りました。

N=324

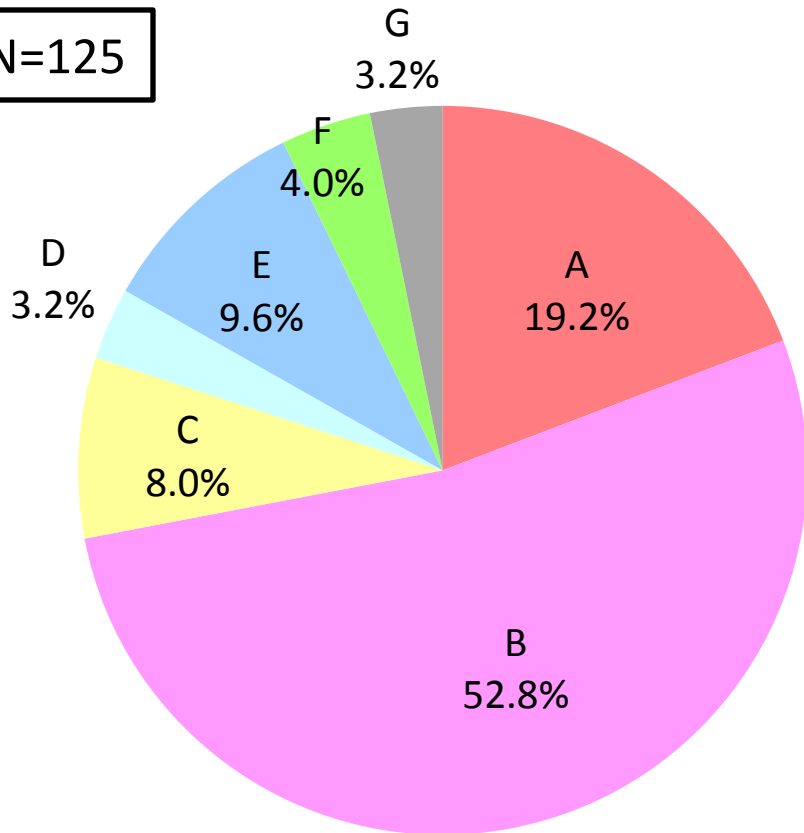


# なぜ日本の政党に期待できないのか

問15SQ. 問15で「期待していない」と回答した方) そのように考えた理由は何ですか。  
【単数回答】

既存政党に期待しない理由としては「既存の政党は新しい日本に向けた構想力が乏しく、課題解決能力が不足しているから」との回答が52.8%と、圧倒的多数を占めました。「既存の政党は異なる意見が党内に混在するなど、組織として体をなしていないから」(19.2%)などがそれに続いています。

N=125



- A 既存の政党は異なる意見が党内に混在するなど、組織として体をなしていないから
- B 既存の政党は新しい日本に向けた構想力が乏しく、課題解決能力が不足しているから
- C 既存の政治のリーダー自体に新味がなく、期待を感じないから
- D どの党も二世議員主体の政党で新しい可能性を感じないから
- E 多くの政党は既存の団体の利害を軸に機能しており、一般の市民の声を反映できないから
- F その他
- G 無回答

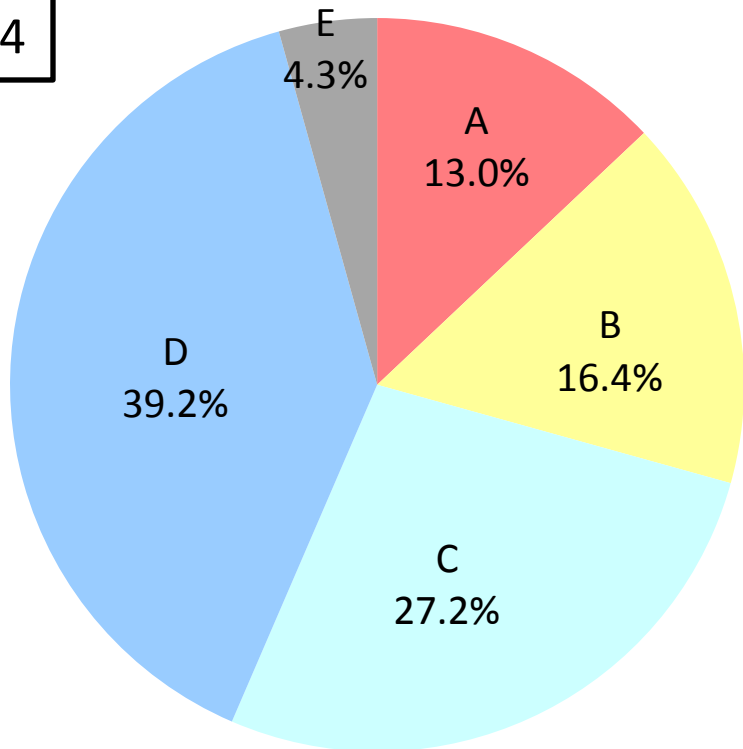
# 民主党などのマニフェストの問題と 「政府の約束」について

# 総選挙で民主党に投票した理由

問16. あなたは先の選挙の際に、民主党のマニフェストの政策の内容を支持したうえで投票を行いましたか。【単数回答】

「マニフェストの内容を支持したから、民主党に投票した」と答えた人は13.0%にとどまりました。いっぽうで「民主党に投票したが、マニフェストの内容は重視しなかった」との回答は16.4%、「民主党に投票したが、マニフェストの内容には疑問や反対の気持ちがあった」との回答は27.2%でした。「民主党には投票しなかった」と答えた人は39.2%と4割近くにのびりました。

N=324



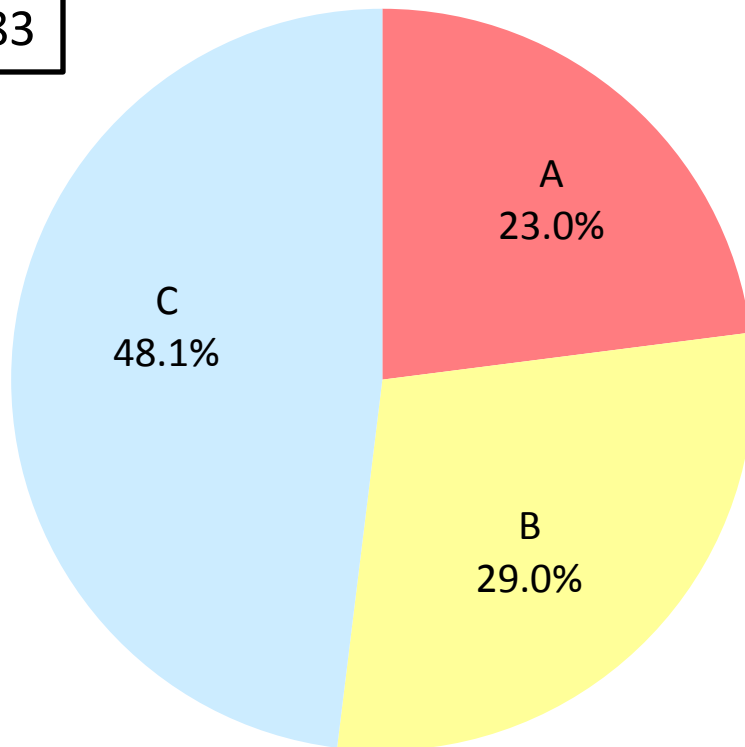
- A マニフェストの内容を支持したから、民主党に投票した
- B 民主党に投票したが、マニフェストの内容は重視しなかった
- C 民主党に投票したが、マニフェストの内容には疑問や反対の気持ちがあった
- D 民主党には投票しなかった
- E 無回答

# 総選挙で民主党に投票した理由 (「投票しなかった」回答者を除く)

問16. あなたは先の選挙の際に、民主党のマニフェストの政策の内容を支持したうえで投票を行いましたか。【単数回答】

「民主党に投票した」と答えた183人の中で見てみると、「民主党に投票したが、マニフェストの内容には疑問や反対の気持ちがあった」という回答が半数近い48.1%にのぼっています。「マニフェストの内容を支持したから、民主党に投票した」という回答は最も少ない23.0%でした。

N=183

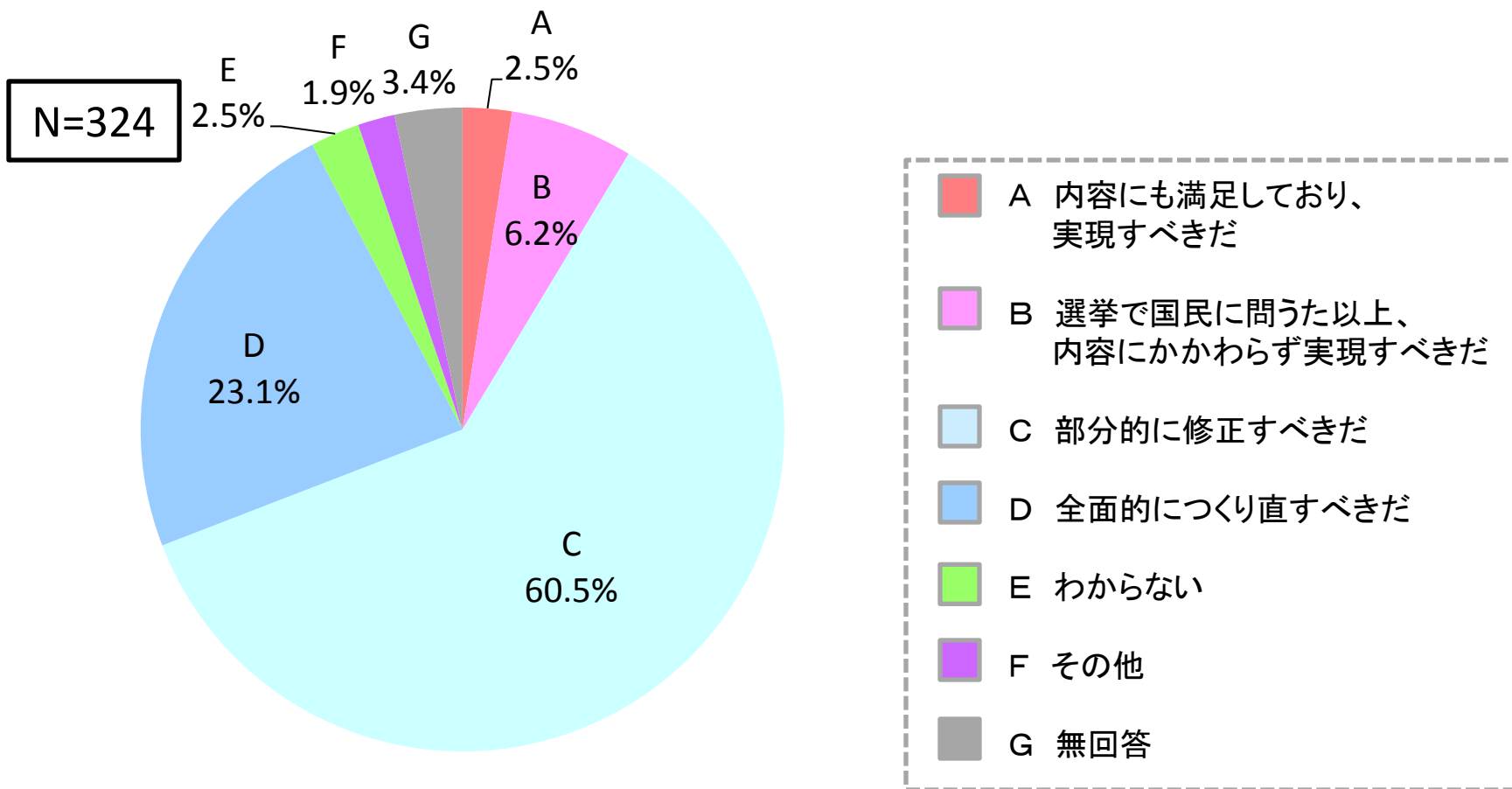


- A マニフェストの内容を支持したから、民主党に投票した
- B 民主党に投票したが、マニフェストの内容は重視しなかった
- C 民主党に投票したが、マニフェストの内容には疑問や反対の気持ちがあった

# 民主党マニフェストの内容をどう見るか

問17. 現時点で、あなたは民主党政権が進めようとする選挙時の「マニフェスト」の内容をどう判断していますか。【単数回答】

選挙時の民主党のマニフェストの実行に関しては、全体の半数を超える60.5%が「部分的に修正すべきだ」と回答。「全面的につくり直すべきだ」との回答も23.1%にのぼっています。

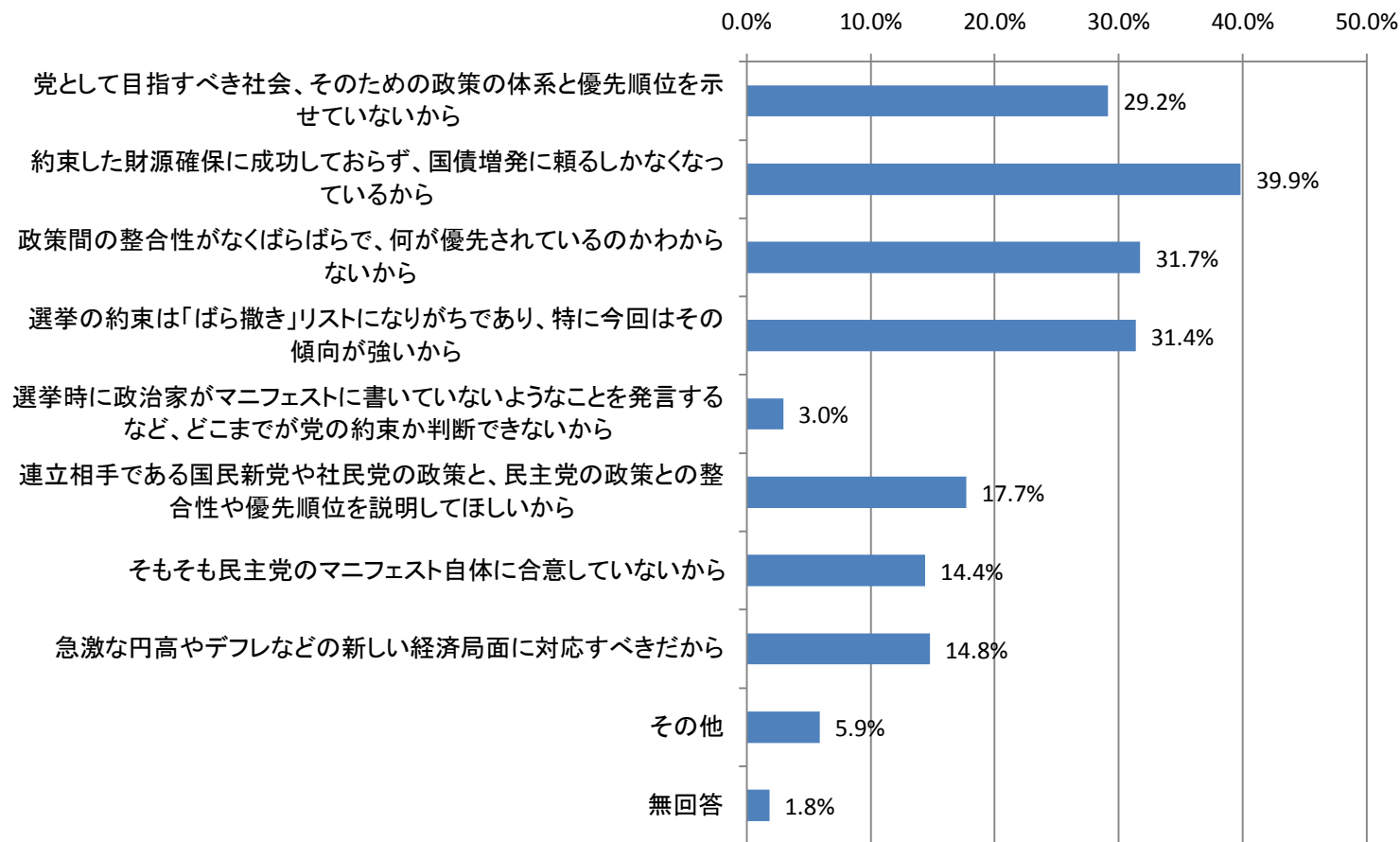




# マニフェストの修正・つくり直しはなぜ必要か

問17SQ. (問17で選挙時のマニフェストを「部分的に修正すべきだ」「全面的につくり直すべきだ」と回答した方) そのように考えた理由は何ですか。【単数回答】

マニフェストの修正やつくり直しが必要な理由としては、「約束した財源確保に成功しておらず、国債増発に頼るしかなくなっているから」との回答が最も多い39.9%を占めました。



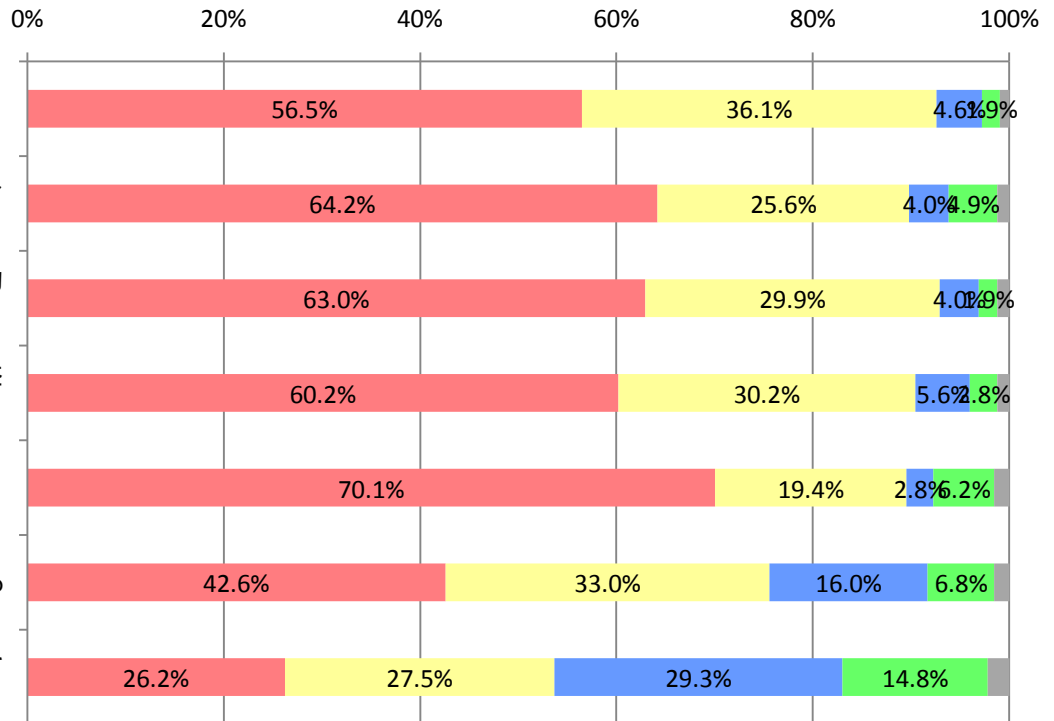
# 民主党のマニフェストについて①

問18. あなたは、先の総選挙のマニフェストで民主党が示した主な公約は、そのまま実施すべきだと思いますか、それとも修正すべきだと思いますか。あるいはやめるべきだと思いますか。【単数回答】

民主党の選挙時の主要マニフェスト42項目で「修正して実施すべき」と、「実施すべきではない」との回答が合わせて半数を超えているのは18項目。「高速道路の段階的無料化」「子ども手当」「戸別所得保障」「公立高校の授業料の実質無料化」など民主党の主要な公約に関しては、約7割の回答者が修正や取りやめを求めています。

■ 公約通り実施すべきだ    ■ 修正して実施すべきだ    ■ 実施すべきではない    ■ わからない    ■ 無回答

N=324



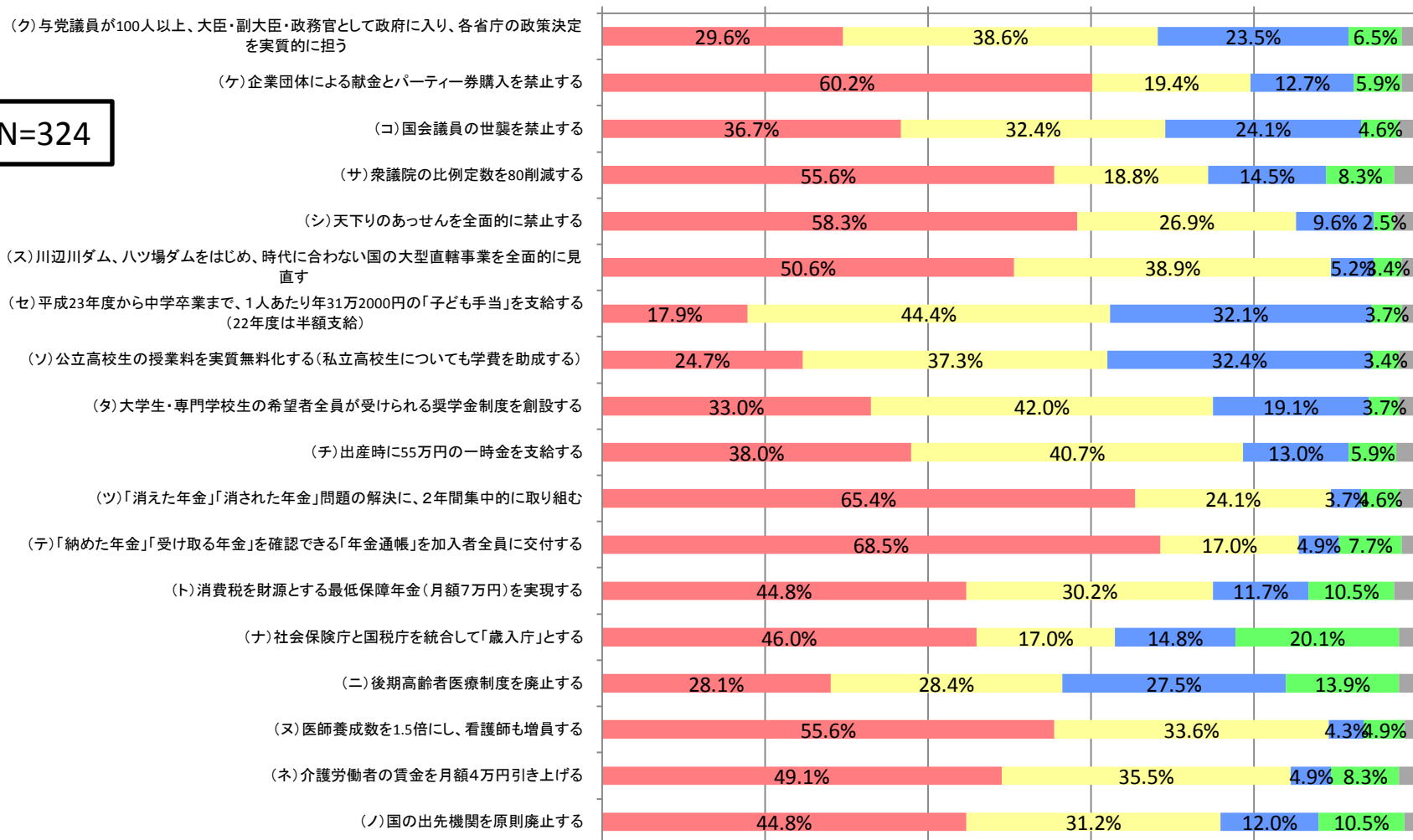
# 民主党のマニフェストについて②

問18. あなたは、先の総選挙のマニフェストで民主党が示した主な公約は、そのまま実施すべきだと思いますか、それとも修正すべきだと思いますか。あるいはやめるべきだと思いますか。【単数回答】

■ 公約通り実施すべきだ    ■ 修正して実施すべきだ    ■ 実施すべきではない    ■ わからない    ■ 無回答

0%                                  20%                                  40%                                  60%                                  80%                                  100%

N=324



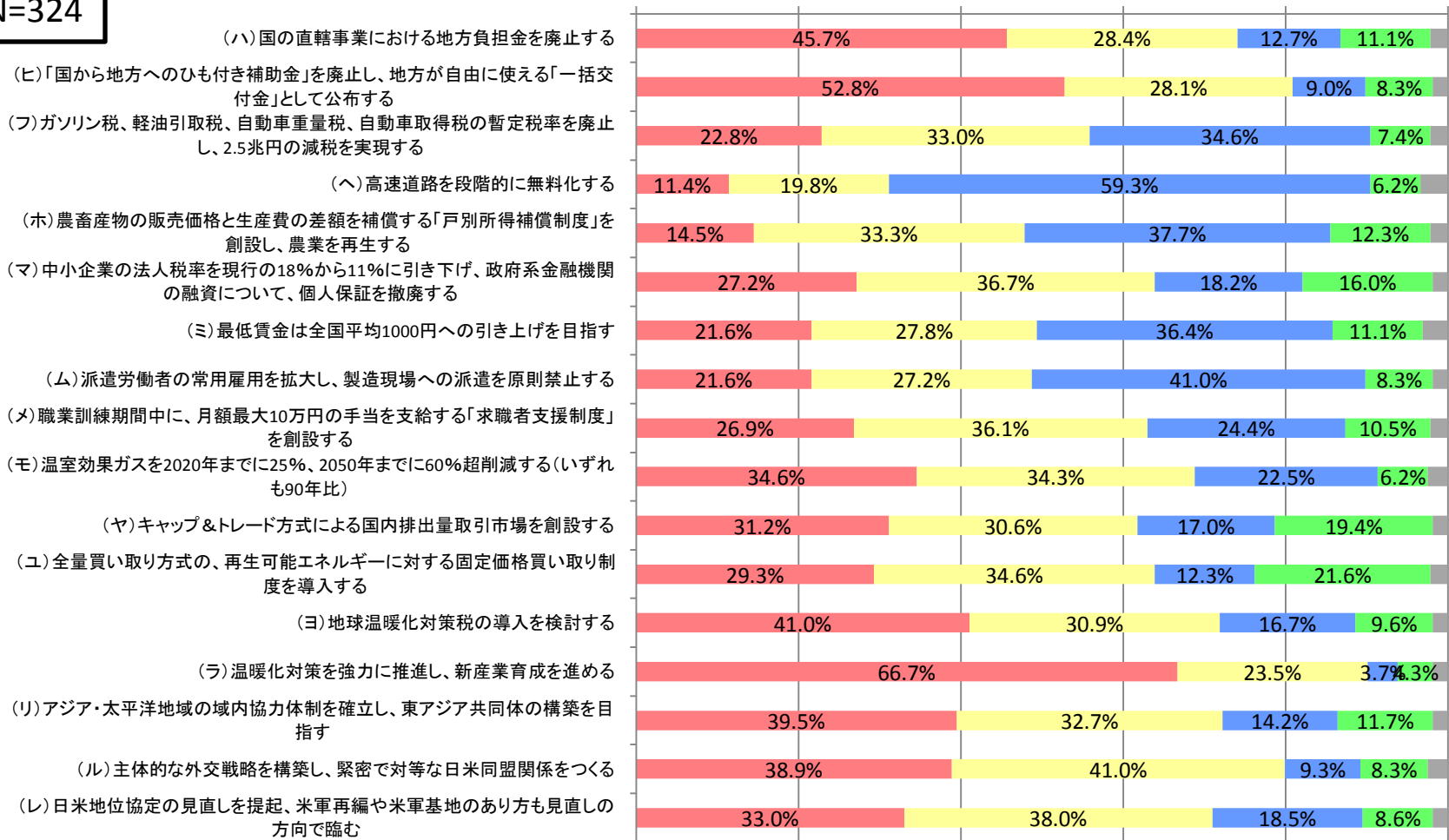
# 民主党のマニフェストについて③

問18. あなたは、先の総選挙のマニフェストで民主党が示した主な公約は、そのまま実施すべきだと思いますか、それとも修正すべきだと思いますか。あるいはやめるべきだと思いますか。【単数回答】

■ 公約通り実施すべきだ    ■ 修正して実施すべきだ    ■ 実施すべきではない    ■ わからない    ■ 無回答

0%                          20%                          40%                          60%                          80%                          100%

N=324

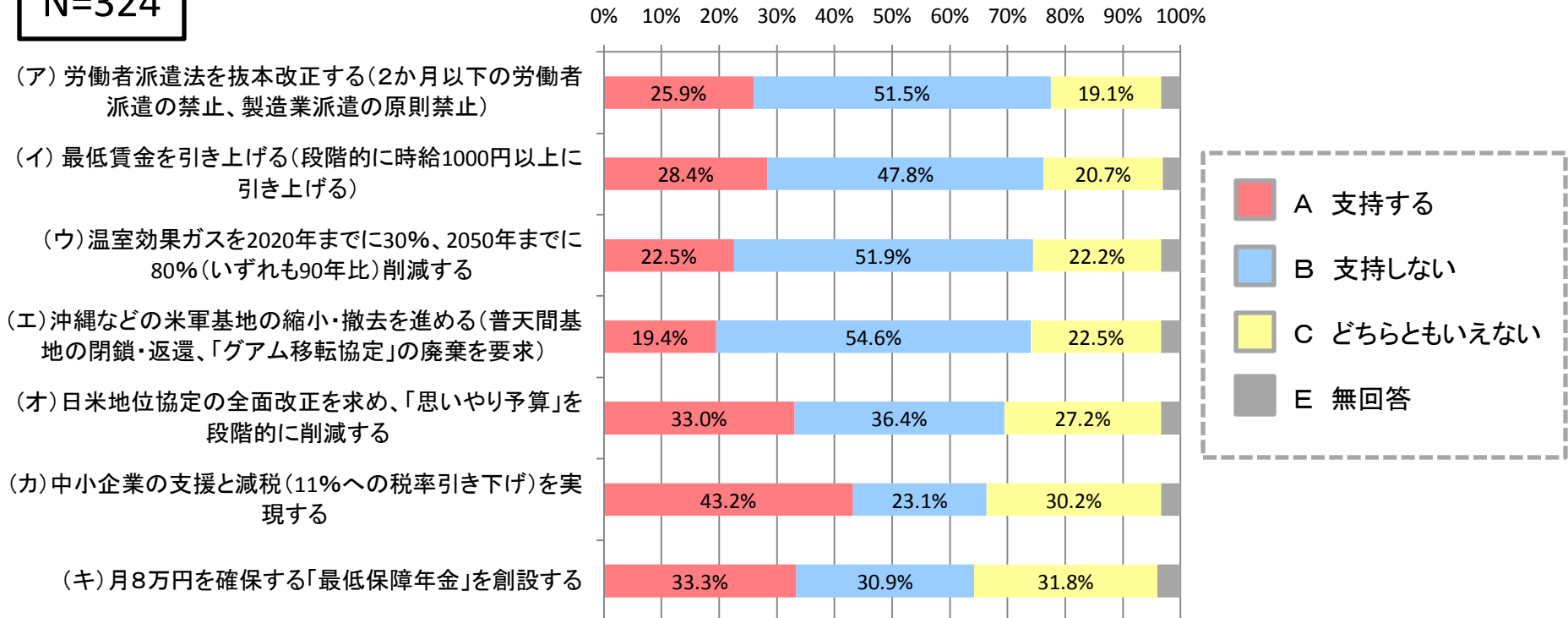


# 社民党のマニフェストについて

問19. 先の総選挙で社民党が示したマニフェストのうち、基本政策として掲げられた以下の(ア)～(キ)をあなたは現時点で支持していますか、支持していませんか。【単数回答】

社民党マニフェストの主要7項目については、5項目で「支持しない」が「支持する」を上回りました。その中でも「支持しない」の割合が半数を超えたのは、「沖縄などの米軍基地の縮小・撤去を進める」(54.6%)、「温室効果ガスを2020年までに30%、2050年までに80%削減する」(51.9%)、「労働者派遣法を抜本改正する」(51.5%)でした。

N=324



■ A 支持する  
■ B 支持しない  
■ C どちらともいえない  
■ E 無回答

# 国民新党のマニフェストについて

問20. 先の総選挙で国民新党が示したマニフェストのうち、基本政策として掲げられた以下の(ア)～(ク)をあなたは現時点で支持していますか、支持していませんか。【単数回答】

国民新党のマニフェスト8項目に関して、「支持する」の割合が最も高かったのは「社会貢献活動への参加を奨励する」(71.0%)でした。いっぽうで「支持しない」が「支持する」を上回ったのは、「郵政民営化を見直す」(55.9%)、「中小企業向けに、最長3年の支払猶予制度を新設する」(55.2%)、「無利子非課税国債を発行する」(50.6%)の3項目でした。

N=324

